(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

2025年6月30日

長崎県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市北区大淀南1丁目4-15

氏 名 青木あすなろ建設㈱ 大阪本店 常務執行役員本店長 重田 道明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6440-1816

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	青木あすなろ建設㈱ 大阪本店
事業場の所在地	大阪府大阪市北区大淀南1丁目4-15
計 画 期 間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項
①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	924億円
③従 業 員 数	973人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	(解体・建築工事) 汚泥・・・・処理業者にいたくして脱水・固化にて再生化 コンクリート塊・・・再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 木くず・ガラスくず・アスファルト塊・廃プラ・石膏ボード・・・処理業者に 委託して再生化 混合廃棄物・・処理業者に委託して最終処分(埋立)

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
	(管理体制図)						
	別紙管理体制図のとおり						
本出	         	・胆子で東西					
生未	 	T					
		産業廃棄物の種類	① 方泥 ① 方泥	②コンクリート破片			
		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
		排   出   量	523 t た 取組)	225 t			
	①現状	余剰材の引取り(廃プラ					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	①汚泥 	②コンクリート破片			
		排 出 量	300 t	200 t			
	②計画	(今後実施する予定の がれき類、廃プラスチックの	の取組) )分別ならびに廃油・石綿	含有廃棄物についても			
			いように確実に分別・保				
産業	産業廃棄物の分別に関する事項						
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
	①現状						
			の産業廃棄物の種類及び そず他の品目についても				
	②計画	実施		3元生が尿の刀が体質を 			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
【前年度( 5年度)実績】					
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード		
19 t	58 t	4 t	9 t		
【目標】					
③アスファルト破片	<b>④木くず</b>	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード		
20 t	20 t	5 t	5 t		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
【前年度( 5年度)実績】					
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物		_		
90 t	263 t	- t	- t		
【目標】					
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	_	_		
10 t	200 t	— t	— t		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
【前年度( 5年度)実績】					
_	1	_	_		
— t	— t	— t	- t		
【目標】					
_		_	_		
— t	— t	— t	— t		

自身	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
		【前年度( 5年度)	)実績】			
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片		
	<ul><li>①現状</li></ul>	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	- t		
	<b>少先</b> 4人	(これまでに実施し)	た取組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t		
	②計画	(今後実施する予定	の取組)			
自ら	<u> </u>       行う産業廃棄物の中間	<u> </u>   処理に関する事項				
		【前年度( 5年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	- t		
		産業廃業物の量 自ら中間処理により減				
	①現状	量した産業廃棄物の量	— t	_ t		
		(これまでに実施し)	/ご耳又求丘/			
		【目標】		1		
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t		
	②計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t		
		(今後実施する予定)	(7) 取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
【前年度( 5年度)実績】				
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
— t	— t	— t	— t	
【目標】				
③アスファルト破片	<ul><li>④木くず</li></ul>	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
— t	— t	— t	— t	
自ら行う産業廃棄物の中	中間処理に関する事項			
【前年度(5年度)	実績】			
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
- t	— t	— t	— t	
— t	— t	- t	- t	
【目標】				
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
— t	— t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
【前年度( 5年度)実績】				
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	_	_	
— t	- t	- t	— t	
【目標】				
⑦その他がれき	8建設系産業廃棄物	_	_	
— t	— t	— t	— t	
自ら行う産業廃棄物の中	『間処理に関する事項			
【前年度( 5年度)	実績】			
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	_	_	
— t	— t	— t	— t	
— t	- t	- t	— t	
【目標】				
⑦その他がれき	8建設系産業廃棄物	_	_	
- t	- t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
【前年度( 5年度)実績】				
_	_	_	_	
— t	— t	— t	— t	
【目標】				
_	_	_	_	
— t	— t	— t	— t	
自ら行う産業廃棄物の中				
【前年度( 5年度)	実績】	<b>.</b>	<u> </u>	
_	_	_	_	
- t	— t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	
【目標】				
_	_	_	_	
— t	— t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
		【前年度( 5年度)	実績】		
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片	
		自ら埋立処分又は		,	
	①現状	海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	— t	— t	
	1) -9L1/	(これまでに実施した	取組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う	- t	— t	
	②計画	産業廃棄物の量	— t	_ t	
		(今後実施する予定の	取組)		
産業	美廃棄物の処理の委託!	に関する事項			
		【前年度(5年度)	実績】		
		産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片	
		全処理委託量	523 t	225 t	
		優良認定処理業者 への処理委託量	— t	— t	
		再生利用業者への 処理委託量	— t	121 t	
	①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t	
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t	
		(これまでに実施した	取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度( 5年度)実績】				
③アスファルト破片	<b>④木くず</b>	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
— t	- t	- t	— t	
【目標】				
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
— t	— t	— t	— t	
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項			
【前年度( 5年度)				
③アスファルト破片	④木くず	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード	
19 t	58 t	4 t	9 t	
— t	— t	— t	— t	
7 t	48 t	— t	9 t	
— t	— t	— t	— t	
— t	— t	— t	— t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度( 5年度)	実績】			
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	1	_	
— t	— t	— t	— t	
【目標】				
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物			
— t	— t	— t	— t	
産業廃棄物の処理の委託	Eに関する事項			
【前年度( 5年度)	実績】			
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	_	_	
90 t	263 t	- t	- t	
- t	- t	- t	- t	
— t	— t	- t	- t	
— t	— t	— t	— t	
- t	- t	- t	- t	

自ら行う産業廃棄物の埋	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
【前年度( 5年度)実績】					
ı			-		
— t	— t	— t	— t		
【目標】					
_	_	_	_		
— t	— t	— t	— t		
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項				
【前年度( 5年度)	実績】				
_		_	_		
— t	— t	— t	— t		
— t	— t	— t	— t		
— t	— t	— t	— t		
— t	— t	- t	— t		
— t	— t	— t	- t		

# (第5面)

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①汚泥	②コンクリート破片
	全処理委託量	300 t	200 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	100 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の 再生資源の現地利用(エ 分別収集の向上による	法の検討含む)	
※事務処理欄			

(第5面)

【目標】			
③アスファルト破片	<ul><li>④木くず</li></ul>	⑤廃プラスチック	⑥廃石膏ボード
20 t	20 t	5 t	9 t
- t	- t	- t	— t
20 t	20 t	— t	9 t
— t	— t	- t	— t
— t	— t	— t	— t

(第5面)

【目標】			
⑦その他がれき	⑧建設系産業廃棄物	_	_
10 t	200 t	— t	- t
— t	- t	- t	- t
— t	- t	— t	- t
— t	- t	- t	- t
— t	— t	— t	— t

(第5面)

【目標】					
_	_	_	_		
— t	- t	— t	— t		
— t	— t	— t	— t		
— t	- t	— t	— t		
— t	— t	- t	— t		
— t	— t	— t	— t		

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、 自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量 と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理 委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関 する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用 委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外 の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

### 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者 〒857-0361

住 所 長崎県北松浦郡佐々町小浦免字小浦浜1572-21

氏 名 アリアケジャパン株式会社

代表取締役社長 白川 直樹 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0956-63-5500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	アリアケジャパン株式会社
事	業場の所在地	長崎県北松浦郡佐々町小浦免字小浦浜1572-21
計	画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	09 食料品製造業
	②事業の規模	47,520,836万円
	③ 従 業 員 数	7 4 9 名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	図1、2、3

(日本産業規格 A列4番)

産業	業廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
		社長		
		$\downarrow$		
		工務部		
			ISO 事	事務局
		設備保全課	(処理計画	作成担当)
		$\downarrow$		
		環境衛生係		
産業	L 業廃棄物の排出の抑制に	関する事項		
		【前年度(令和6年度)実績】	另	川紙①とおり
		産業廃棄物の種類		
		排 出 量	t	t
	① 現状	(これまでに実施した取組)		
		【目標】 別紙①とおり		
		産業廃棄物の種類		
		排出量	t	t
	② 計画	(今後実施する予定の取組)		
産業	     実廃棄物の分別に関する			
		(分別している産業廃棄物の種類		
	   ①現状	汚泥 (脱水ケーキ)、汚泥 (油水   処理)、動物性残渣、植物性残渣		
		スくず・コンクリート及び陶磁器		
		棄物、製品付着包材、木くず	- の任 エフィック	
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物   無し	が理想及び分	が別に関する収組)

自	う行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項				
		【前年度(令和6年月	度)実績】			
		産業廃棄物の種類				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t		
	① 現状	(これまでに実施した	  - 形分			
		(こればぐに美地し/	△ 月X水吐 <i>)</i>			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
	0.31.35	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t		
	②計画	(今後実施する予定の	つ取組)			
台。	             	加畑に関わて東西				
	01] 7 <u>医未</u> 烷来物の中国		左\			
		【前年度(令和6年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t		
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	6, 653.38 t	t		
		(これまでに実施した取組)				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t		
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	6, 852.00 t	t		
		(今後実施する予定の	の取組)			
		廃油回収の促進				

	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
		【前年度(令和6年度)	実績】		
		産業廃棄物の種類			
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	
		(これまでに実施した耶	文組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	
		(今後実施する予定の取	文組)		
産業	業廃棄物の処理の委託に 	関する事項			
		【前年度(令和6年度)実績】 別紙②のとおり			
		産業廃棄物の種類			
		全処理委託量	t	t	
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	
			t	t	
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への			
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	t	t	
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t t	t	
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t	t	
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t	t	
	① 現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t	t	

# (第5面)

		【目標】別紙②のとお	<b>ં</b> ગ	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	② 計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の	つ取組)	
<u>**</u>	事務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類	①現状 令和6年度の排出量	②計画 令和7年度の目標
汚泥(脱水ケーキ)	3,326.69 t	3,426.00 t
汚泥(油水分離槽での分離油 脂)	0.00 t	0.00 t
汚泥(脱水未処理)	206.19 t	212.00 t
動物性残渣	2,918.37 t	3,006.00 t
植物性残渣	1,196.82 t	1,233.00 t
廃プラスチック	903.44 t	931.00 t
金属くず	0.00 t	0.00 t
ガラスくず・コンクリート及 び陶磁器くず	10.050 t	10.00 t
水銀使用製品廃棄物	0.110 t	0.00 t
製品廃棄物	949.700 t	978.00 t
製品付着包材	694.64 t	715.00 t
木くず	14.98 t	15.00 t
合計	10,220.99 t	10,528.00 t
	(これまでに実施した取組) ・廃油の精製処理による有価物販売 の促進 ・金属くずの一部を有価物として 販売	(今後実施する予定の取組) ・動物性残渣、植物性残渣の 有効利用 ・廃プラスチックの減容化 ・廃棄物燃料化検討

別紙② 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年(令和6年度)実績】

廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業処理委託	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
汚泥(脱水ケーキ)	3,326.69	t			
汚泥(油水分離槽での分離油脂)	0.00	t			
汚泥(脱水未処理)	206.19	t			
動物性残渣	2,918.37	t			
植物性残渣	1,196.82	t			
廃プラスチック	903.44	t			
金属くず	0.00	t			
ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず	10.05	t			
水銀使用製品廃棄物	0.11	t			
製品廃棄物	949.70	t			
製品付着包材	694.64	t			
木くず	14.98	t			

(これまでに実施した取り組み)

分別の状態について、委託業者の意見を聞く

別紙② 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【目標】

廃棄物の種類	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
汚泥(脱水ケーキ)	3,426.00	t				
汚泥(油水分離槽での分離油脂)	0.00	t				
汚泥(脱水未処理)	212.00	t				
動物性残渣	3,006.00	t				
植物性残渣	1,233.00	t				
廃プラスチック	931.00	t				
金属くず	0.00	t				
ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず	10.00	t				
水銀使用製品廃棄物	0.00	t				
製品廃棄物	978.00	t				
製品付着包材	715.00	t				
木くず	15.00	t				

(今後実施する予定の取組)

処理業者を訪問し、処理状況の確認

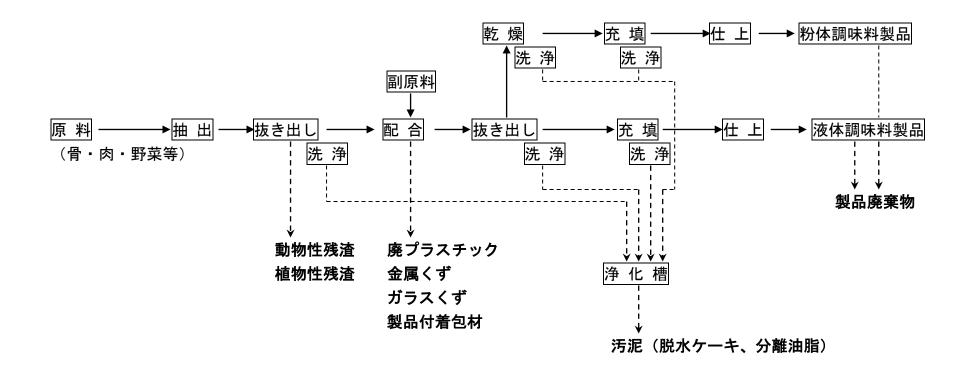


図1. 液体調味料・粉体調味料製造フローシート

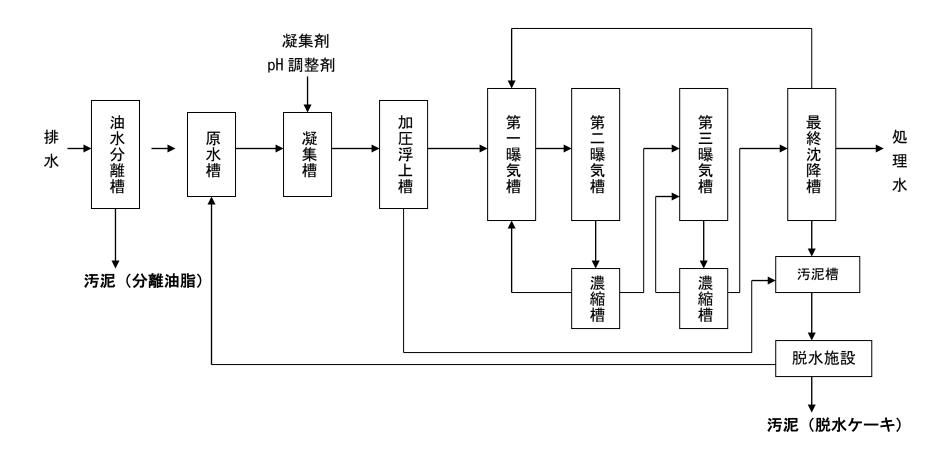


図. 2 排水処理フローシート

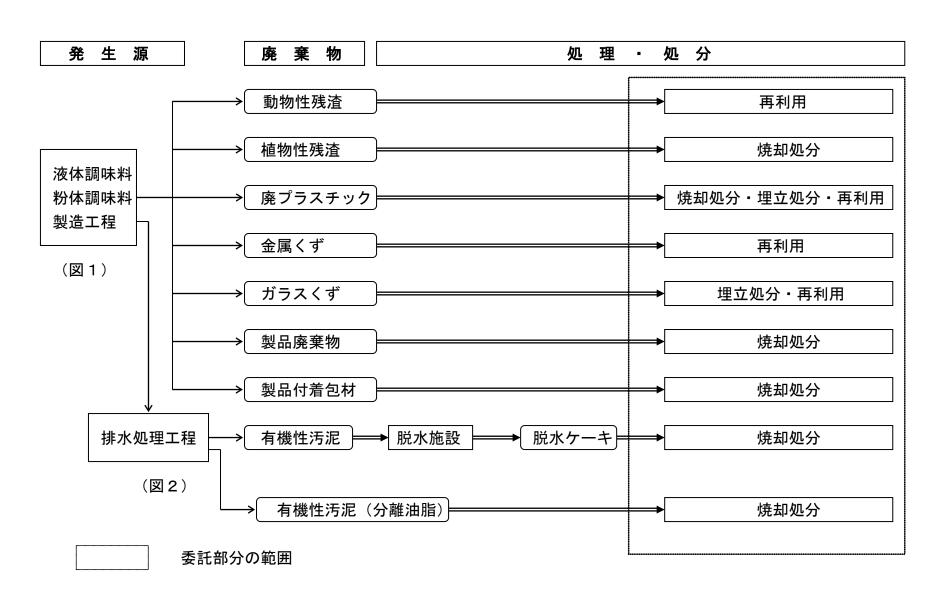


図3. 廃棄物発生・処理フローシート

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

長崎県知事 殿

提出者

住 所 長崎県諫早市小船越町2-3

氏 名 株式会社 荒木組

代表取締役 丸石 英巳 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-26-1965

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 荒木組
事業場の所在地	長崎県諫早市小船越町2-3
計 画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日

### 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

以事未勿に40~で元に日うでも事未に因うも事を					
①事業の種類	総合建設業				
②事 業 の 規 模	資本金7千万円				
③従 業 員 数	24				
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり				

(日本産業規格 A列4番)

産業	業廃棄物の処理に係る	る管理体制に関する	事項		
	(管理体制図)				
	別添2 管理体制図	のとおり			
~* ×					
産ョ	業廃棄物の排出の抑制 「	T	- r <del>t.</del> ) /	+> <b>√</b> ± <b>1</b>	
		【前年度(令和6年	- (度)	夫績 <b>】</b>	
		産業廃棄物の種	類	別紙集計表のとおり	
		排出	量	t	t
	(T#1/4)	(これまでに実施	した斯		
	①現状	設計及び施工計画	段階で	、施主及び発注者・元請	<b>青業者と十分に検討を行</b>
		い、協議・承認を	交わし	計画を策定する。	
		 【目標】			
			÷.V=	Dulat the State of Days to	
		産業廃棄物の種 	<b>重類</b>	別紙集計表のとおり	_
		排出量	量	t	t
	  ②計画	(今後実施する予	定の取	双組)	
				、施主及び発注者・元請	<b>青業者と十分に検討を行</b>
		い、協議・承認を	父わし	計画を東定する。	
产量	 業廃棄物の分別に関す	<u> </u> ナス			
/ <del>**</del> /		1	<b>坐</b>		 -ろ取組)
		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用などによる減量化を含めた分別に努める。			
	①現状				
		(人分 八田(ナフマピ	→ a → +	<b>坐皮を集の往来サッドハロ</b>	2ヶ間上フ で如)
				業廃棄物の種類及び分別 は化を含めた分別に努める	
		117411114566	3 1/X <u>=</u>		0

自员	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
		【前年度(令和6年度)	実績】			
		産業廃棄物の種類	_	_		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	t		
	①現状	(これまでに実施した取	文組)			
		特になし				
		 【目標】				
		産業廃棄物の種類	_	_		
		<u>自ら再生利用を行う</u>		,		
		産業廃棄物の量	— t	t		
	②計画	(今後実施する予定の取り 特になし	又組)			
		141- 20 0				
自身	っ行う産業廃棄物の「	中間処理に関する事項				
		【前年度(令和6年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	_	_		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	t		
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t		
		(これまでに実施した取 特になし	文組)			
		村になし				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_	_		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t		
		自ら中間処理により減量する	— t	— t		
	②計画	産業廃棄物の量		t		
(今後実施する予定の取組)   特になし						

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
		【前年度(令和6年度)	実績】			
		産業廃棄物の種類	_	_		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t		
	①現状	(これまでに実施した取 特になし	双組)			
		【目標】		1		
		産業廃棄物の種類		_		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t		
	②計画	(今後実施する予定の取組)				
		特になし				
産業	美廃棄物の処理の委託 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	<b>モに関する事項</b>				
		【前年度(令和6年度)	実績】			
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり			
		全処理委託量	t	t		
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t		
		再生利用業者への 処理委託量	t	t		
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t		
	₩ ÐLWK	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t		
		(これまでに実施した取産業廃棄物の処理許可証 う。		り確認を行い、委託を行		
i .						

# (第5面)

	(376	> 曲 /			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり			
	全処理委託量	t	t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t		
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t		
	(今後実施する予定の取産業廃棄物の処理許可証う。	(祖) E、運搬車両の登録などの	)確認を行い、委託を行		

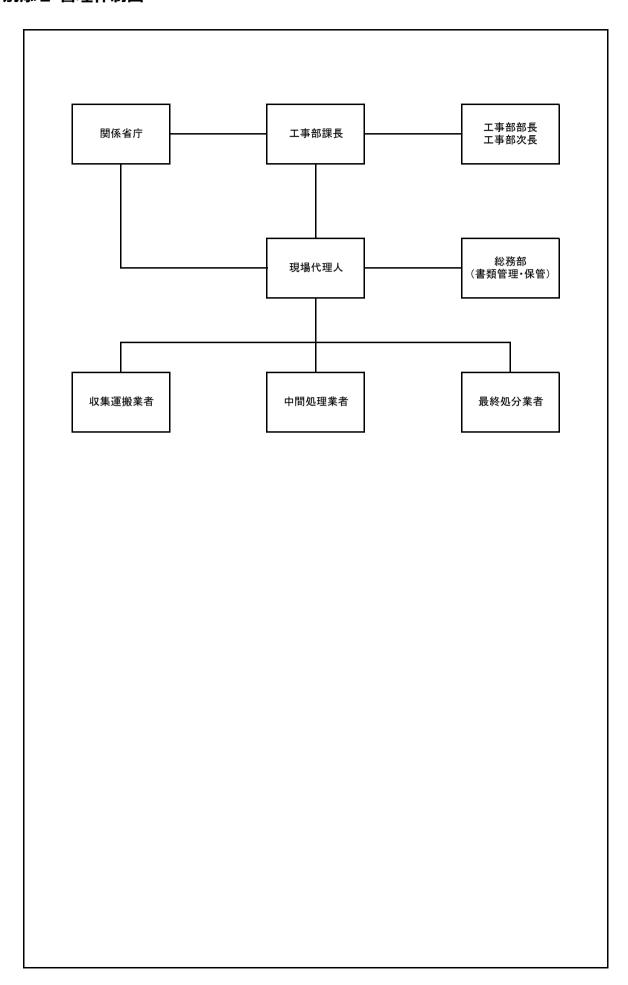
### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別添1 処理工程図

2 3 4 5 6 7 8	廃棄物処理方針を立てる 発注者及び処理業者と事前に十分な打合せを行う 廃棄物の発生量を予測する 施工方法、資材を検討し廃棄物の発生を抑制する 発生するものについて、できるだけ再生処理による減量化を図る 再生利用できない場合は、中間処理による減量化を検討する 廃棄物として処分するものについては、適正な保管・収集運搬・処分の方法を選定する 処理方法に応じた現場内での分別方法について検討する 処理を委託する場合は、委託する処理業者の許可内容などを確認する

## 別添2 管理体制図



現状:前年度(令和6年度)実績量

計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

	計画: 今年度(令和7年度)計画量(目標) 単位: トン																			
	排出	抑制		再生		ら行うロ			分	埋立処 又は					処理の	委託				
産業廃棄物の種類	排出	出量	行つ	用を た(行 量	を 行っ	快回収 を た(行 量	に 減量	間処理 より とした る)量	海洋分	投入処 分を た(行う) 量	全処理	委託量	優良認定 者へ 処理 量	の 委 託	0	#業者へ の 委託 <b></b>	認定熱回へ へ 処理 想	の	の熱回収	収業者以外  なぞ行う業者 理委託量
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	8.47	7.62	_	_	_	_	_	_	_	_	8.47	7.62	7.92	7.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	1,660.84	1,494.76	_	_	_	_	_	_	_		1,660.84	1,494.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス陶磁器等くず	1,440.50	1,296.45	_	_	_	_	_	_	_	_	1,440.50	1,296.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	2,169.60	1,952.64	_	_	_	_	_	_	_	_	2,169.60	1,952.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	106.50	95.85	_	_	_	_	_	_	_	_	106.50	95.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<b>∆</b> ∌l	E 20 E 0 f	4.047.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	E 205 01	4.047.00	7.00	7.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	5,385.91	4,847.32	0.00	0.00	0.00	0.00	U.UU	0.00	U.UU	0.00	5,385.91	4,847.32	7.92	7.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

#### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 9 日

長崎県知事 大石 賢吾 様

提 出 者 〒854-8601

住 所 長崎県諫早市東小路町7番1号

諫早市上下水道事業管理者

氏 名 上下水道局長 矢竹 秀孝 (公印省略)

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (TEL) (0957)22-2635

(FAX) (0957)24-6810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その 他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	他との処理に関する計画を作成したので、提出しより。						
事	業	所	ŕ (	の	名	称	諫早中央浄化センター
事	業	所	Ø	所	在	地	諫早市仲沖町356番地
計	†	画		期		間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当	該事業	集場に	おし	て到	見にぞ	うってい	る事業に関する事項
	1	事	業	ص	種	類	水道業 [36]
	2	事	業	Ø	規	模	令和6年度年間処理水量 4143716㎡
	3	従	실	ŧ	員	数	20人
		産業!! 1.理 <i>0</i> :			一連	[ <b>0</b>	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産	業廃棄物の処理に係る管理体制	制に関す	 る事項			
	(管理体制図)					
	下水道課長一担当主任一	担当職員	्रताम् -			
産	業廃棄物の排出の抑制に関すん	1				
	 	【前年周	度(6年度)実績】			
	ļ	産業原	廃棄物の種類	下水道汚泥	:	
		排	出量	36,728	t	t
	O-72 US	(これまつ	でに実施した取約	1)		
	①現状 汚泥の性状を良好に保ち、沈降性・濃縮率を高め発生すを縮減する					
		【目標】	1			
		産業原	廃棄物の種類	下水道汚泥	:	
		排	出量	39,198	t	t
	②計画				季を	高め発生する汚泥量
産	業廃棄物の分別に関する事項	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	w	·	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- · · - ·
	①現状	(分別し <sup>-</sup> -	ている産業廃棄物	物の種類及び分別	引に関	]する取組)
	②計画	(今後分 —	別する予定の産	業廃棄物の種類	及び	分別に関する取組)

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
		【前年度(6年度)実績】							
		産業廃棄物の種類	_						
		自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	- t	t					
	①現状	(これまでに実施した取約	1)						
		特に無し							
		【目標】							
			_						
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t					
	②計画	(今後実施する予定の取	組)						
		特に無し							
H	 ら行う産業廃棄物の中間処理(	<u> </u> −朗すろ車佰							
"	ラバラ 産来ルス (がの) 下間 たまに	【前年度(6年度)実績】							
		 産業廃棄物の種類	下水道汚泥						
		自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t					
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	32,787 t	t					
		(これまでに実施した取組) 汚泥に適合した凝集剤を選定し、含水率を低下させ、発生する脱水汚泥量を縮減する							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t					
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	34,817 t	t					
		(今後実施する予定の取 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱					

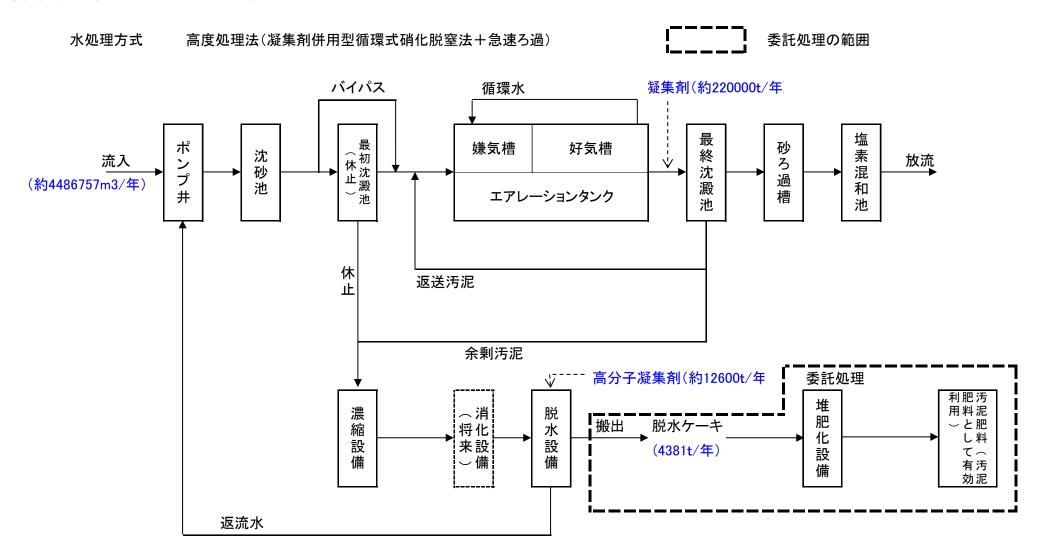
「前年度(6年度)実績]   産業廃棄物の種類	E	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った。 産業廃棄物の量   正本			【前年度(6年度)実績】								
注決入処分を行った			産業廃棄物の種類	_							
【目標】			洋投入処分を行った	_	t	t					
産業廃棄物の種類       一         自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量       一       t         (今後実施する予定の取組)         一         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (事業廃棄物の種類 下水道汚泥         全処理委託量 3,941 t         (事生利用業者への処理委託量 1         (の処理委託量 1         (1現状 2)		①現状	(これまでに実施した取約	1)	<b>I</b>						
産業廃棄物の種類       一         自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量       一       t         (今後実施する予定の取組)         一         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (事業廃棄物の種類 下水道汚泥         全処理委託量 3,941 t         (事生利用業者への処理委託量 1         (の処理委託量 1         (1現状 2)											
産業廃棄物の種類       一         自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量       一       t         (今後実施する予定の取組)         一         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (事業廃棄物の種類 下水道汚泥         全処理委託量 3,941 t         (事生利用業者への処理委託量 1         (の処理委託量 1         (1現状 2)			_								
産業廃棄物の種類       一         自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量       一       t         (今後実施する予定の取組)         一         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (事業廃棄物の種類 下水道汚泥         全処理委託量 3,941 t         (事生利用業者への処理委託量 1         (の処理委託量 1         (1現状 2)											
産業廃棄物の種類       一         自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量       一       t         (今後実施する予定の取組)         一         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (今後実施する予定の取組)         上         (事業廃棄物の種類 下水道汚泥         全処理委託量 3,941 t         (事生利用業者への処理委託量 1         (の処理委託量 1         (1現状 2)											
自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行う産 業廃棄物の量       一       t       t         (今後実施する予定の取組)       一       t         (今後実施する予定の取組)       一       で         (事業廃棄物の処理の委託に関する事項       下水道汚泥       企業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         (事性利用業者 への処理委託量       一       t       t         (事生利用業者 への処理委託量       一       t       t         (可以理委託量       一       t       t			【目標】								
(②計画)       洋投入処分を行う産業廃棄物の量       - t t t t t t t t t t t t t t t t t t t			産業廃棄物の種類	_							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項         (前年度(6年度)実績)         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       つ、水道汚泥         食良認定処理業者への処理委託量       ー t       t         不の処理委託量       ー t       t         認定熱回収業者への処理委託量       ー t       t         での処理委託量       ー t       t         での処理委託量       ー t       t         での処理委託量       ー t       t         で勢回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       ー t       t			洋投入処分を行う産	_	t	t					
【前年度(6年度)実績】         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t		②計画	(今後実施する予定の取	<u>(</u> 組)							
【前年度(6年度)実績】         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t											
【前年度(6年度)実績】         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t											
【前年度(6年度)実績】         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t											
【前年度(6年度)実績】         産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t											
産業廃棄物の種類       下水道汚泥         全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t	産	業廃棄物の処理の委託に関す	る事項								
全処理委託量       3,941       t         優良認定処理業者への処理委託量       -       t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t       t         認定熱回収業者への処理委託量       -       t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       -       t       t			【前年度(6年度)実績】								
優良認定処理業者への処理委託量       ー t       t         再生利用業者への処理委託量       3,941 t       t         認定熱回収業者への処理委託量       ー t       t         ①現状       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       ー t       t			産業廃棄物の種類	下水道汚泥	艮						
への処理委託量       ー       t         再生利用業者への処理委託量       3,941       t         認定熱回収業者への処理委託量       ー       t         ①現状       記定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量       ー       t			全処理委託量	3,941	t						
への処理委託量     3,941     t       認定熱回収業者への処理委託量     ー     t       ①現状     認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量     ー     t			への処理委託量	_	t	t					
①現状       への処理委託量       t       t         認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量       ー       t       t				3,941	t	t					
外の熱回収を行う業     一     t       者への処理委託量				_	t	t					
		①現状	外の熱回収を行う業	_	t	t					
(これまでに実施した取組)			(これまでに実施した取組	1)	1						
			 	実施しているから	↑業者を₹	川田する。					
古泉がい 古当らして、このだり木中で当月する。			TRMN   TTUNICE	~ //EU CU ~U //U/	J 🛧 🗆 ር ፕ	0.00 6 11.11.					

			目標】				
			産業廃棄物の種類	下水道污渍	尼		
		:	全処理委託量	4,381	t		
			優良認定処理業者 への処理委託量	ı	t		t
			再生利用業者 への処理委託量	4,381	t		t
			認定熱回収業者 への処理委託量	-	t		t
	②計画		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	ı	t		t
			後実施する予定の取		分業者	を利用する。	
※事系	<b></b> 務処理欄						

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模 が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理 を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設 設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理 業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」 と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入 した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 諫早中央浄化センター処理工程



# 産業廃棄物処理計画書 令和 7 年 6 月 9 日 長崎県知事 大石 賢吾 様 提 出 者 〒854-8601 住 長崎県諫早市東小路町7番1号 所 諫早市上下水道事業管理者 氏 名 上下水道局長 矢竹 秀孝 (公印省略) (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 (TEL) (0957)22-2635 (FAX) (0957)24-6810 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その 他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 事業所の名 称 田結浄化センター 事業所の所在地 諫早市飯盛町里145番地10 期 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで 計 画 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

該争耒場にあいて現に行つている争乗に関する争坦							
① 事業の種類	水道業 [36]						
② 事 業 の 規 模	令和6年度年間処理水量 75311.2㎡						
③ 従 業 員 数	2人						
④産業廃棄物の一連の 処理の工程	別紙1のとおり						

(日本工業規格 A列4番)

産					
	業廃棄物の処理に係る管理体	制に関する事項			
	(管理体制図)				
	下水道課長-担当主任-	·担当職員			
産	業廃棄物の排出の抑制に関す	る事項			
		【前年度(6年度)実績	責】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚漏	N.	
		排 出 量	3,615	t	t
		(これまでに実施した)			
	①現状				
		汚泥の性状を良好し	に保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	る
		【目標】			
		 産業廃棄物の種類	下水道汚漏		
				5 1	
					+
		排出量	4,117	t	t
	②計画		4,117		t
	②計画	排出量	4,117		t
	②計画	排出量	4,117	t	
	②計画	排 出 量 (今後実施する予定の	4,117	t	
	②計画	排 出 量 (今後実施する予定の	4,117	t	
		排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好(	4,117	t	
産	②計画 業廃棄物の分別に関する事項	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好)	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	
		排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好(	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	
		排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好)	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	
	業廃棄物の分別に関する事項	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好)	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	
	業廃棄物の分別に関する事項	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好( (分別している産業廃	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	<b>ర</b>
産	業廃棄物の分別に関する事項	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好)	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	<b>ర</b>
	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好( (分別している産業廃	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	<b>ర</b>
産	業廃棄物の分別に関する事項	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好( (分別している産業廃	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	<b>ర</b>
	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	排 出 量 (今後実施する予定の 汚泥の性状を良好( (分別している産業廃	4,117 )取組) 二保ち、脱水工程で	の回収率を高くす	<b>ర</b>

自	ら行う産業廃棄物の再生利用し	こ関する事項		
		【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	1	
		自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	– t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	1)	
		特に無し		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
		自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	組)	
		特に無し		
	  ら行う産業廃棄物の中間処理(	- 明十2東西		
	51] 7 性未廃業物の中间処理[	【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	 下水道汚泥	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3,562 t	t
		(これまでに実施した取組) 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	4,051 t	t
		(今後実施する予定の取 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱

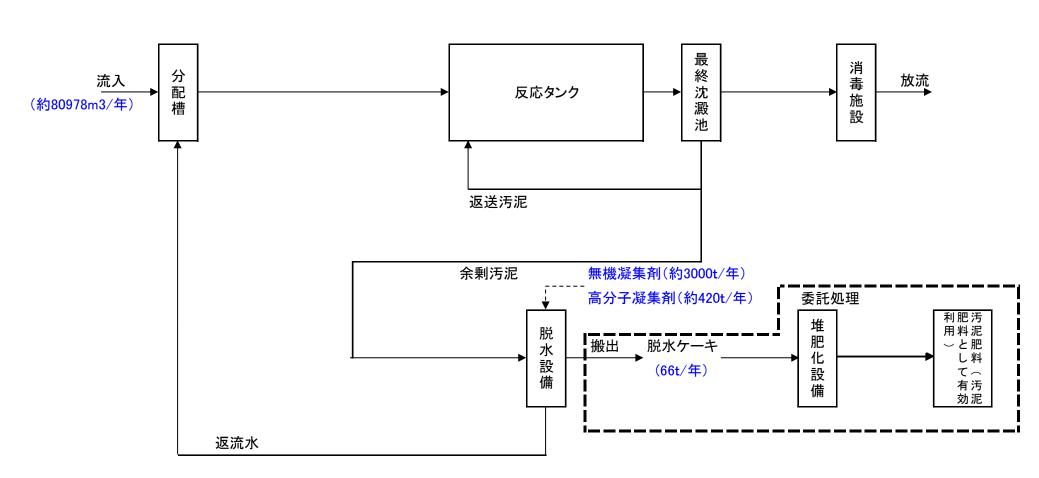
自	ら行う産業廃棄物の埋立処分と	又は海洋投入処分に関す	る事項		
		【前年度(6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	<u>.                                    </u>		
		_			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行う産 業廃棄物の量	_	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	 組)		
		_			
産	業廃棄物の処理の委託に関す	<u> </u>			
		【前年度(6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	}	
		全処理委託量	53	t	
		優良認定処理業者 への処理委託量	_	t	t
		再生利用業者 への処理委託量	53	t	t
		認定熱回収業者	_	t	t
		への処理委託量		L	
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	_	t	t
	①現状	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業		_	t
	①現状	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		_	t
	①現状	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t	
	①現状	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (これまでに実施した取利		t	
	①現状	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (これまでに実施した取利		t	

	(月)四/		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
	全処理委託量	66 t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	t
	再生利用業者 への処理委託量	66 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	t
②計画	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	- t	t
	(今後実施する予定の取再資源化・再利用化を		を利用する。
※事務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模 が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理 を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設 設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理 業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」 と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入 した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 田結浄化センター処理工程



## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 9 日

長崎県知事 大石 賢吾 様

提 出 者 〒854-8601

住 所 長崎県諫早市東小路町7番1号

諫早市上下水道事業管理者

氏 名 上下水道局長 矢竹 秀孝 (公印省略)

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (TEL) (0957)22-2635

(FAX) (0957)24-6810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その 他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	所	Ø	名	称	高来浄化センター
事	業	所 の	)所	在	地	諫早市高来町泉301番地
фa	+	画	期		間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当	該事業	場にお	いて到	見に行	うってい	る事業に関する事項
	1	事業	きの	種	類	水道業 [36]
	2	事業	€ の	規	模	令和6年度年間処理水量 504872㎡
	3	従	業	員	数	2人
		産業廃፤ 1理のコ		一連	Ō	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産				
	業廃棄物の処理に係る管理体	制に関する事項		
	(管理体制図)			
	│ ──下水道課長一担当主任一	-担当職員		
産	業廃棄物の排出の抑制に関す	·る事項 <del></del>		
		【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
			16,877 t	t
		(これまでに実施した取約	<u>1</u> 沮)	
	①現状			
		汚泥の性状を良好に係	Ŗち、脱水工程での回 <sup>」</sup>	収率を高くする
		【目標】		
		 産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		排出量		
		1(全体主体するもまか)	7 幺日 \	t
	②計画	(今後実施する予定の取 	(組)	<u>t</u>
	②計画	(今後実施する予定の取	(組)	<u>t</u>
	②計画			
	②計画	(今後実施する予定の取 )     汚泥の性状を良好に例		
	②計画			
*		汚泥の性状を良好に係		
	②計画 業廃棄物の分別に関する事項	汚泥の性状を良好に係	Rち、脱水工程での回 <sup>り</sup>	収率を高くする
		汚泥の性状を良好に係	Rち、脱水工程での回 <sup>り</sup>	収率を高くする
産	業廃棄物の分別に関する事項	汚泥の性状を良好に係	Rち、脱水工程での回 <sup>り</sup>	収率を高くする
		汚泥の性状を良好に係	Rち、脱水工程での回 <sup>り</sup>	収率を高くする
産	業廃棄物の分別に関する事項	汚泥の性状を良好に係	Rち、脱水工程での回 <sup>り</sup>	収率を高くする
産	業廃棄物の分別に関する事項	汚泥の性状を良好に係	はち、脱水工程での回り 大の種類及び分別に関	収率を高くする 関する取組)
	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄 -	はち、脱水工程での回り 大の種類及び分別に関	収率を高くする 関する取組)
	業廃棄物の分別に関する事項	汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄 -	はち、脱水工程での回り 大の種類及び分別に関	収率を高くする 関する取組)
産	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄 -	はち、脱水工程での回り 大の種類及び分別に関	収率を高くする 関する取組)

自	ら行う産業廃棄物の再生利用に	こ関する事項		
		【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	1	
		自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	– t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	1)	
		特に無し		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
		自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	組)	
		特に無し		
<u> </u>	こになから充むの上田加田			
	ら行う産業廃棄物の中間処理  	-関する事項    【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	<u> </u>
		自ら熱回収を行った		
		産業廃棄物の量	t	t
	   ①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃乗物の量	16,554 t	t
		(これまでに実施した取組) 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱
		【目標】		T
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	   ②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	22,489 t	t
		(今後実施する予定の取 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱

①現状			る事項		
①現状		「年度(6年度)実績】			
①現状		産業廃棄物の種類	_		
①現状	A	ら埋立処分又は海 投入処分を行った 業廃棄物の量	_	t	t
	(こオ	はまでに実施した取れ	组)		
	_				
	<u> </u>	標】	1		
	<u> </u>	産業廃棄物の種類	_		
	洋	ら埋立処分又は海 投入処分を行う産 廃棄物の量	_	t	t
②計画	(今後	後実施する予定の取	(組)		
	_				
産業廃棄物の処理の					
		「年度(6年度)実績】	1		
			<u> </u>	3	
	1 2		322	t	
		優良認定処理業者 への処理委託量	_	t	t
		再生利用業者 への処理委託量	322	t	t
		認定熱回収業者 への処理委託量	_	t	t
		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	_	t	t
①現状					
①現状	(c/t	はまでに実施した取締	<b>」</b> 狙)		
①現状	(これ	はまでに実施した取組	<u>【</u> 组)		
①現状				冬業4	を利用する。
①現状		はまでに実施した取終 となるでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ま		】	を利用する。
①現状				大業者	を利用する。
		再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業	下水道汚派 322 — 322 — — —	t t t	t

	(у) о ш /		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
	全処理委託量	404	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	_	t t
	再生利用業者 への処理委託量	404	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	_	t
②計画	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	_	t t
	(今後実施する予定の取再資源化・再利用化を		者を利用する。
※事務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模 が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理 を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設 設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理 業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」 と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入 した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 高来浄化センター処理工程

委託処理の範囲 水処理方式 オキシデーションディッチ法 最終沈 消毒施設 ポ 放流 流入 ンプ 反応タンク (約532385m3/年) 澱 井 池 返送汚泥 無機凝集剤(約12100t/年) 余剰汚泥 高分子凝集剤(約2500t/年) 委託処理 利肥汚 用料泥 堆 脱 搬出 肥化 〜と肥 脱水ケーキ 水設 し料 (404t/年) 設 て〜 有污効泥 返流水

#### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 9 日

長崎県知事 大石 賢吾 様

提 出 者 〒854-8601

住 所 長崎県諫早市東小路町7番1号

諫早市上下水道事業管理者

氏 名 上下水道局長 矢竹 秀孝 (公印省略)

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (TEL) (0957)22-2635

(FAX) (0957)24-6810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その 他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	所	Ť	の	名	称	小長井浄化センター
事	業	所	の	所	在	地	諫早市小長井町大峰980番地70
計		画		期		間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当記	亥事業	場に	おし	て到	見にぞ	うってい	・ ・る事業に関する事項
	1)	事	業	ø	種	類	水道業 [36]
	2	事	業	Ø	規	模	令和6年度年間処理水量 300885㎡
	3	従	1	<b></b>	員	数	2人
		産業派 上理の			)一連	ĒΦ	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

I 1—	業廃棄物の処理に係る管理体	制に関する事項		
	(管理体制図)			
		1- · · - · ·		
	下水道課長一担当主任一	-担当職員		
	  業廃棄物の排出の抑制に関す	 ·る事項		
′-		【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		排出量	17,777 t	t
		(これまでに実施した取締	· ·	
	①現状		<b></b> /	
		┃ ┃ 汚泥の性状を良好に係	とち、脱水工程での回り	又率を高くする
		 【目標】		
		I I I /= 1		
			工业发生记	1
		産業廃棄物の種類 	下水道汚泥	
		産業廃棄物の種類 排 出 量	20,632 t	t
	⊘≑∔ங	産業廃棄物の種類 	20,632 t	t
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量	20,632 t	t
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取	20,632 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量	20,632 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取	20,632 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取	20,632 t	
	②計画 業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) Rち、脱水工程での回り	又率を高くする
		産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) Rち、脱水工程での回り	又率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) Rち、脱水工程での回り	又率を高くする
産		産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) Rち、脱水工程での回り	又率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) Rち、脱水工程での回り	又率を高くする
産	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) は は は は は は は は は は は は は は は は は は	又率を高くする 関する取組)
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) は は は は は は は は は は は は は は は は は は	又率を高くする 関する取組)
産	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) は は は は は は は は は は は は は は は は は は	又率を高くする 関する取組)
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	20,632 t 組) は は は は は は は は は は は は は は は は は は	又率を高くする 関する取組)

自	ら行う産業廃棄物の再生利用に	に関する事項		
		【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	_	
		自ら再生利用を行っ た 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	①現状	(これまでに実施した取約	1)	
		特に無し		
		【目標】		
			_	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t
	2計画	(今後実施する予定の取	<u>1</u> 組)	<u>l</u>
		特に無し		
  =	  ら行う産業廃棄物の中間処理	<u> </u> こ関する事項		
	THE PERSON OF TH	【前年度(6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃乗物の量	17,520 t	t
		(これまでに実施した取約	1	•
		汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する	を選定し、含水率を低	下させ、発生する脱
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃乗物の量	20,365 t	t
		(今後実施する予定の取 汚泥に適合した凝集剤 水汚泥量を縮減する		下させ、発生する脱

	ら行う産業廃棄物の埋立処分と	スは海洋投入処分に関す	る事項		
		【前年度(6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	1)		
		_			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行う産 業廃棄物の量	_	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	組)		
		_			
産	 業廃棄物の処理の委託に関す	<u>l</u> る事項			
		【前年度(6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	下水道汚洲	Ē	
		全処理委託量	258	t	
			200	٠	
		優良認定処理業者 への処理委託量	_	t	t
			258		t
		への処理委託量 	_	t	
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者	_	t	t
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業	 258  	t t	t
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	 258  	t t	t
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t t	t t
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t t	t t
	①現状	への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t t	t t

			(月) 四 /				
		[	目標】				
			産業廃棄物の種類	下水道污	泥		
			全処理委託量	267	t		
			優良認定処理業者 への処理委託量	_	t		t
			再生利用業者 への処理委託量	267	t		t
			認定熱回収業者 への処理委託量	-	t		t
2	計画		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	-	t		t
			後実施する予定の取		分業者	を利用する。	
※事務処	理欄						

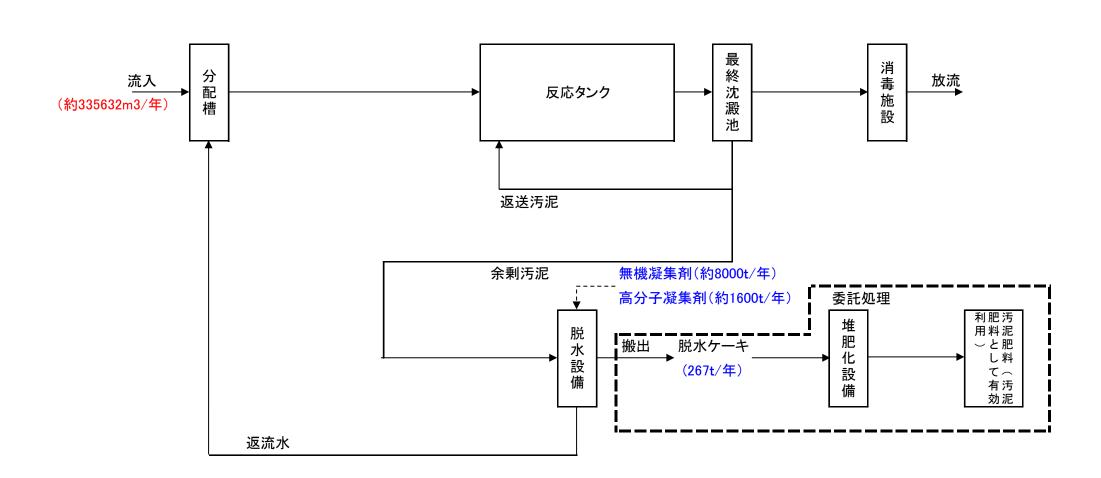
#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模 が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理 を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設 設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理 業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」 と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入 した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 小長井浄化センター処理工程

水処理方式 オキシデーションディッチ法

委託処理の範囲



### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 9 日

長崎県知事 大石 賢吾 様

提 出 者 〒854-8601

住 所 長崎県諫早市東小路町7番1号

諫早市上下水道事業管理者

氏 名 上下水道局長 矢竹 秀孝 (公印省略)

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (TEL) (0957)22-2635

(FAX) (0957)24-6810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その 他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 所 の 名 称	飯盛浄化センター
事 業 所 の 所 在 地	諫早市飯盛町開181番地1
計 画 期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行ってい	る事業に関する事項
① 事業の種類	水道業 [36]
② 事 業 の 規 模	令和6年度年間処理水量 130862㎡
③ 従 業 員 数	2人
④産業廃棄物の一連の 処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

-				
産	業廃棄物の処理に係る管理体	制に関する事項		
	(管理体制図)			
	│ ──下水道課長一担当主任一	-担当職員		
産	業廃棄物の排出の抑制に関す	·る事項 <del> </del>		
		【前年度(6年度)実績】	1	
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		排 出 量	5,163 t	t
		(これまでに実施した取)	<u>」</u> 組)	
	①現状			
		汚泥の性状を良好に係	<b>呆ち、脱水工程での回</b>	収率を高くする
		<u> </u>    【目標】		
		【目標】 産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		産業廃棄物の種類 排 出 量	7,367 t	t
	②計画	産業廃棄物の種類	7,367 t	t
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量	7,367 t	t
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量	7,367 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取	7,367 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取	7,367 t	
		産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t	
	②計画	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) 呆ち、脱水工程での回	収率を高くする
产		産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) 呆ち、脱水工程での回	収率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) 呆ち、脱水工程での回	収率を高くする
		産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) 呆ち、脱水工程での回	収率を高くする
産	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) 呆ち、脱水工程での回	収率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係	7,367 t 双組) R45、脱水工程での回物の種類及び分別に	収率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄	7,367 t 双組) R45、脱水工程での回物の種類及び分別に	収率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄	7,367 t 双組) R45、脱水工程での回物の種類及び分別に	収率を高くする
	業廃棄物の分別に関する事項 ①現状	産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取 汚泥の性状を良好に係 (分別している産業廃棄	7,367 t 双組) R45、脱水工程での回物の種類及び分別に	収率を高くする

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
【前年度(6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	_			
		自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	— t	t		
	①現状	(これまでに実施した取約	1)			
		特に無し				
		【目標】				
			_			
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t		
	②計画	(今後実施する予定の取	<u>(</u> 組)	l.		
		特に無し				
É	  ら行う産業廃棄物の中間処理	<u> </u> 				
【前年度(6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t		
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	5,080 t	t		
	( ) 30 px	(これまでに実施した取組)				
汚泥に適合した凝集剤を選定し、含水率を低下させ、 水汚泥量を縮減する				下させ、発生する脱		
	【目標】					
		産業廃棄物の種類				
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t		
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃乗物の量	7,250 t	t		
		(今後実施する予定の取組) 汚泥に適合した凝集剤を選定し、含水率を低下させ、発生する脱水汚泥量を縮減する				

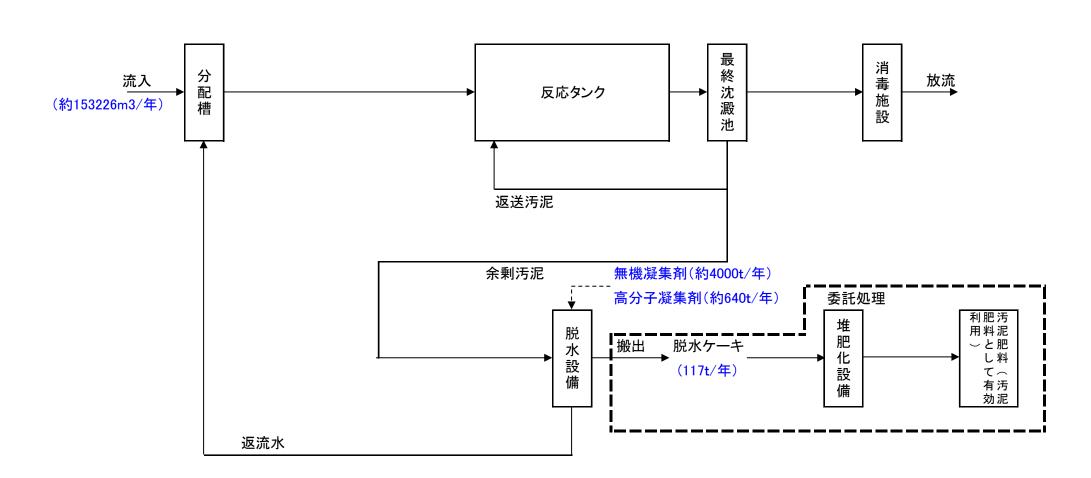
自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
	【前年度(6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	_				
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t	t		
	①現状	(これまでに実施した取組	<u> </u>				
		_					
		産業廃棄物の種類	_				
		自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行う産 業廃棄物の量	-	t	t		
②計画 (今後実施する予定の取組)				<u> </u>			
		_					
産							
	【前年度(6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	3			
		全処理委託量	83	t			
		優良認定処理業者 への処理委託量	_	t	t		
		再生利用業者 への処理委託量	83	t	t		
		認定熱回収業者 への処理委託量	_	t	t		
	①現状		_	t	t		
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業	_ _ _				
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	_ _ _				
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量		t	t		
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (これまでに実施した取利		t	t		
	①現状	への処理委託量 認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (これまでに実施した取利		t	t		

	【目標】			
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥		
	全処理委託量	117 t		
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	117 t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	t	
②計画	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	- t	t	
	(今後実施する予定の取組) 再資源化・再利用化を実施している処分業者を利用する。			
※事務処理欄				

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模 が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間 処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理 を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を 記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設 設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理 業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」 と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入 した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 飯盛浄化センター処理工程

水処理方式 オキシデーションディッチ法 委託処理の範囲



### 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

## 提出者

住 所 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地 氏 名 雲仙市長 金澤 秀三郎 (公印省略) (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-47-7826 (直通)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	雲仙浄化センター
事	業場の所在地	長崎県雲仙市小浜町雲仙284番地
計	画 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当詞	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	36 水道業
	②事業の規模	令和6年度年間放流水量 527,457m³
	③ 従 業 員 数	9名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産	業廃棄物の処理に係る管	理体制	こ関する	事項			
	(管理体制図)						
	下水道課長 一 下	水道班	長 - :	担当職	員		
産	業廃棄物の排出の抑制に 「	関する! T	事項				
		【前年	度(令和	16年度	E)実績】 		
		産業原	発棄物の	種類	下水道汚泥		
		排	出	量	1, 417	t	t
	① 現状	(これ	までに実	尾施 した	上取組)		
		汚泥	の性状を	シ良好に	に保ち、脱水工程で	றிரி	7率を高くする
		171					
				2 20/17 (	- 休り、 別八工住 (	77 <u>1514</u> 1	√ Т С III ( ) О о
				200,	- 休り、加小工生で	// <u> </u> -14	хт с  н, <b>х</b> )   υ <sub>0</sub>
		【目標			- 休り、加小工任ぐ	// <u>                                    </u>	хтен( <b>( ) о</b>
		【目標	<u></u>			// III N	хтен(
		産業原	至	種類	下水道汚泥		
		産業原	至 発棄物の 出	種類 量	下水道汚泥		t
	②計画	産業原	至	種類 量	下水道汚泥		
	②計画	排(今後	発棄物の 出 実施する	種類 量 5予定の	下水道汚泥	t	t
	②計画	排(今後	発棄物の 出 実施する	種類 量 5予定の	下水道汚泥 1,654 )取組)	t	t
	②計画	排(今後	発棄物の 出 実施する	種類 量 5予定の	下水道汚泥 1,654 )取組)	t	t
産美	②計画	産業原 排 (今後 汚泥	発棄物の 出 実施する	種類 量 5予定の	下水道汚泥 1,654 )取組)	t	t
産訓		産業! 排 (今後 汚泥	発棄物の出実施する	種類 量 3予定の と良好に	下水道汚泥 1,654 )取組) C保ち、脱水工程で	t の回収	t 又率を高くする。
産氵		産業! 排 (今後 汚泥	発棄物の出実施する	種類 量 3予定の と良好に	下水道汚泥 1,654 )取組)	t の回収	t 又率を高くする。
産氵	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	産業! 排 (今後 汚泥	発棄物の出実施する	種類 量 3予定の と良好に	下水道汚泥 1,654 )取組) C保ち、脱水工程で	t の回収	t 又率を高くする。
産シ	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	産業! 排 (今後 汚泥 事項 (分別	発棄物の 出 実施する との性状を	種類 量 3予定の を良好に 6産業序	下水道汚泥 1,654 )取組) C保ち、脱水工程で	t の回収 引に関	t 又率を高くする。 関する取組)
産氵	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	産業! 排 (今後 汚泥 事項 (分別	発棄物の 出 実施する との性状を	種類 量 3予定の を良好に 6産業序	下水道汚泥 1,654 の取組) C保ち、脱水工程で 逐棄物の種類及び分	t の回収 引に関	t 又率を高くする。 関する取組)

自	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(令和6年度	要) 実績】	
		産業廃棄物の種類	l	
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
		(これまでに実施した	上取組)	
		_		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
		(今後実施する予定の	取組)	
		_		
自	っ行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項		
		【前年度(令和6年度	<b>ぎ)実績】</b>	
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1, 229 t	t
		(これまでに実施した	上取組)	
		汚泥に適合した凝集	<b>『剤を選定し、含水率を</b>	低下させ、発生する脱水
		汚泥量を縮減する。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1, 434 t	t
		(今後実施する予定の	)取組)	
		汚泥に適合した凝集 汚泥量を縮減する。	<b>ミ剤を選定し、含水率を</b>	低下させ、発生する脱水

自员	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に	こ関する事項		
		【前年度(令和6年度	) 実績】		
		産業廃棄物の種類	_		
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	t
		(これまでに実施した	取組)	I	
		_			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は			
	②計画	海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_	t	t
		(今後実施する予定の	取組)		
		_			
産美	<b>養廃棄物の処理の委託に</b>	関する事項			
		【前年度(令和6年度	)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥		
		全処理委託量	188	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	_	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	188	t	t
	① 現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	_	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	t
		   (これまでに実施した	取組)		
		   再資源化・再利用化 	で実施している処	分業者を利用	する。

	【目標】			
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥		
	全処理委託量	2 2 0	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	_	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 2 0	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	t
	(今後実施する予定の 再資源化・再利用化		ユ分業者をタ	利用する。
※事務処理欄				

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 施設の概要及び汚泥発生量計画

施設名

雲仙浄化センター

従業員数

9名

### 事業内容

県内有数の観光地である雲仙温泉及び雲仙地区は、年間13万人の観光客が訪れる 景勝地であり、日本で初めて制定された国立公園でもあります。しかし、生活環境の変化 により、水質汚濁は顕著化し、国立公園内はもとより、周辺公共水域の汚濁負荷が問題 化されております。そこで、当該地から発生する汚水を処理することにより、雲仙地区の 環境衛生改善を図り、合わせて下流域の千々石地区、橘湾の水質保全に努め、水質保 全及び生活改善を図り快適なまちづくり、観光地づくりのため、下水道の整備を行うもの です。

処理区域面積

57ha

計画処理人口

8,840人

処理能力

3,450㎡/日

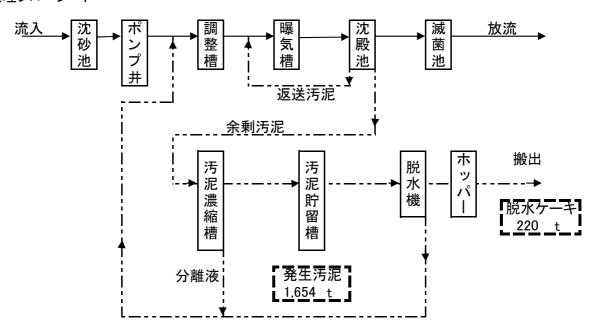
処理方法

標準活性汚泥法

中継ポンプ場

3箇所(新湯・別所・小地獄中継ポンプ場)

### 汚水処理フローシート



計画期間

令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

## 提出者

住 所 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地 氏 名 雲仙市長 金澤 秀三郎 (公印省略) (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-47-7826 (直通)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	千々石浄化センター
事	業場の所在地	長崎県雲仙市千々石町己9番地1
計	画 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当計	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	3 6 水道業
	②事業の規模	令和6年度年間放流水量 351,782m³
	③ 従 業 員 数	4名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産	業廃棄物の処理に係る管	理体制	こ関する事項				
	(管理体制図)						
	下水道課長 一 下	水道班	長 一 担当職	員			
産美	業廃棄物の排出の抑制に	関する	事項				
		【前年	度(令和6年月	<b>吏)実績</b> 】			
		産業	廃棄物の種類	下水道汚泥			
		排	出量	2, 675	t		t
	① 現状	(これ	までに実施した	· :取組)	l.		
		\ <del></del>	1 ~ [d] [[b] 3. <del>[b</del> ] [] > )	- /E 2 - B)/   4E	~		
			の性状を良好に	に保ち、脱水工程での	ク回収	<b>率を</b> 局くする。	
		【目標		I			
			望】 廃棄物の種類	下水道汚泥			
				下水道汚泥	t		t
	②計画	産業原	廃棄物の種類	2, 875	t		t
	②計画	排(今後	発棄物の種類 出 量 注実施する予定の	2,875			t
	②計画	排(今後	発棄物の種類 出 量 注実施する予定の	2, 875			t
	②計画	排(今後	発棄物の種類 出 量 注実施する予定の	2,875			t
	②計画	排(今後	発棄物の種類 出 量 実施する予定の	2,875			t
産美	②計画 業廃棄物の分別に関する	産業原 排 (今後 汚泥	発棄物の種類 出 量 実施する予定の	2,875			t
産美		産業! 排 (今後 汚泥	廃棄物の種類 出 量 実施する予定の との性状を良好に	2,875	の回収	率を高くする。	t
産ジ		産業! 排 (今後 汚泥	廃棄物の種類 出 量 実施する予定の との性状を良好に	2,875	の回収	率を高くする。	t
産美	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	産業! 排 (今後 汚泥	廃棄物の種類 出 量 実施する予定の との性状を良好に	2,875	の回収	率を高くする。	t
産美	業廃棄物の分別に関する ①現状	産業! 排 (今後 汚泥 事項 (分別	廃棄物の種類 出 量 実施する予定の との性状を良好に	2,875	の回収	率を高くする。	t
産美	<b>業廃棄物の分別に関する</b>	産業! 排 (今後 汚泥 事項 (分別	廃棄物の種類 出 量 実施する予定の との性状を良好に	2,875 つ取組) ご保ち、脱水工程では を棄物の種類及び分別	の回収	率を高くする。	t

自	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(令和6年度	要 実績】	
		産業廃棄物の種類	_	
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
		(これまでに実施した	上取組)	
		_		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
		(今後実施する予定の	)取組)	
		_		
自	ら行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項		
		【前年度(令和6年度	<b>E)実績</b> 】	
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2, 486 t	t
		(これまでに実施した	上取組)	
		   汚泥に適合した凝集	<b>真剤を選定し、含水率を</b>	低下させ、発生する脱水
		汚泥量を縮減する。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2,645 t	t
		(今後実施する予定の	)取組)	
		汚泥に適合した凝集 汚泥量を縮減する。	<b>真剤を選定し、含水率を</b>	低下させ、発生する脱水

自身	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に	こ関する事項		
		【前年度(令和6年度	)実績】		
		産業廃棄物の種類	_		
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	t
		(これまでに実施した	取組)		
		_			
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	_		
		自ら埋立処分又は			
	②計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t	t
		(今後実施する予定の	取組)		
		_			
産美	と 実廃棄物の処理の委託に	関する事項			
		【前年度(令和6年度	)実績】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥		
		全処理委託量	189	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	_	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	189	t	t
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	t
		(これまでに実施した	取組)		
		再資源化・再利用化	を実施している処	分業者を利	用する。

<u> </u>		, о ш,		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	下水道汚泥		
	全処理委託量	2 3 0	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	_	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 3 0	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	t
	(今後実施する予定の 再資源化・再利用化		上分業者	を利用する。
※事務処理欄				

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書 施設の概要及び汚泥発生量計画

施設名

千々石浄化センター

従業員数

4名

事業内容

当該地から発生する汚水を処理することにより、千々石地区の環境衛生改善を図り、橘湾の水質保全に努め、水質保全及び生活改善を図り快適なまちづくりのため、下水道整を行うものです。

処理区域面積

164ha

計画人口

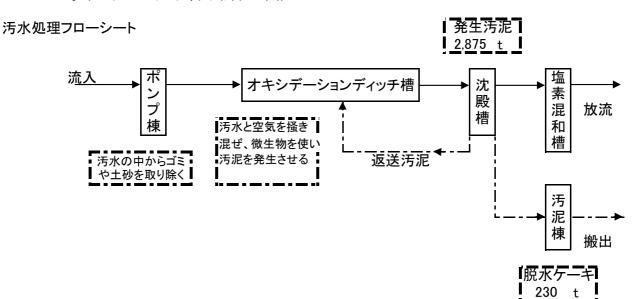
15,410人

処理能力

3,100㎡/日

処理方法

オキシデーションディッチ法(OD法)



計画期間

令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 4 月 1 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者 株式会社エス・ピー・シー 住 所 長崎市坂本町3丁目1番1号 氏 名 代表取締役 深堀 讓 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 095-845-0809

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社エス・ピー・シー
事	業場の所在地	長崎県内(長崎市、佐世保市を除く)の建設現場
計	画 期 間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該	事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業
	②事業の規模	437, 113千円(令和5年8月31日決算)
	③従 業 員 数	19名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	工事現場で発生した <b>産廃</b> 収集運搬 (委託) 中間処理場 (委託) → 有価物 最終処分場 (委託)



(管理体制図)	
	代表者 (社長)
	<b>↑</b>
h	廃棄物管理担当 (専務取締役)
	<b>†</b>
	◆ 各作業所 (現場担当者)
Ø	行下来办 (先参担当有)
芝廃棄物の排出の抑制	別に関する事項 別紙1参照
	【前年度(    年度)実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
① 現状	(これまでに実施した取組)
327	
9 87	
	産業廃棄物の種類
	排出量
<b>○</b> ₹	(今後実施する予定の取組)
②計画	( / DOOME) O J ACODAMIE
<b>É廃棄物の分別に関す</b>	<sup>-</sup> る事項 
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
①現状	アスファルト塊、コンクリート塊、建設汚泥、金属くず
	木くず、混合廃棄物
_ W %	
	<ul><li>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</li></ul>

自	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項			
		【前年度(  年	F度)	実績】	
	①現状	産業廃棄物の種類			
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
		(これまでに実施した耳	文組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t
	(2)計画	(今後実施する予定の耳	文組) 		
自	っ行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項			
		【前年度(	F度)	実績】	
		産業廃棄物の種類			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
	①現状	自ら中間処理にり減量した産業廃棄物の量		t	t
		(これまでに実施した耶	文組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
		(今後実施する予定の耳	文組)		

【前年度(  年度)実績】	
	/
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は	
海洋投入処分を行う t	
産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)	
	7
上関する事項 別紙2参照	4 8
【前年度(年度)実績】	52
The NG chantel I - or New	
産業廃業物の種類	14
全 処 理 季 託 量	
優良認定処理業者への	
処理委託量	
	4 2 2 2
再生利用業者への	# HON
再生利用業者への 処理 委託 量	# 30%
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	1 10 0m
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への t	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への t	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) で関する事項 別紙2参照 【前年度 年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量

	【目標】 別紙2	2参照	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
② 計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取締	組)	
2			
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

علاد الله الله	大此。(mpl)-用上又大石
座業廃	棄物の仰制に関する事項   別紙 1
	【前年度(2024年度)の実績】
	産業廃棄物の種 建設汚泥 アスファルト塊 混合 (管理型含む) 混合 (安定型のみ)
	搬出量(t) 3.52 338.00 2.21 4.03
	(これまでに実施した取組)
	マンスカフォのたわて ベノ田坦中に住む はまれい
	・ゴミになるものをなるべく現場内に持ち込まない。
①現状	
	【目標】
	産業廃棄物の種 建設汚泥 アスファルト塊 混合 (管理型含む) 混合 (安定型のみ)
	搬出量(t) 3.52 338.00 2.21 4.03
	(今後実施する予定の取組)
	・ゴミになるものをなるべく現場内に持ち込まない。
0-1	
②計画	

	棄物の処理の勢	託に関す	る事項	別紙 2			
	【前年度(2024年	度)の実績】					
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	アスファルト塊	混合 (管理型含む)	混合(安定型のみ)		
	全処理委託量	3, 52	338. 00	2. 21	4.03		
	優良認定処理業者 への処理委託量	3. 52	338. 00	2. 21	1. 03		
	再生利用業者への処理委託量	3. 52	338.00	2. 21	1.03		
①現状	認定熱回収業者への処理委託量	0	0				
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0	0				
	・指定処理業者はリサイ	J 77 F → V   E  V - V   1		17.00			
	┃						
	産業廃棄物の種類	<b>冲</b> 部许泥	アフファルト曲	混△ ( <b>竺</b> 理刪◆→)	退入 (佐会刑のな)		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	アスファルト塊		混合(安定型のみ)		
	全処理委託量	3. 5	338. 00	2. 21	4. 03		
	全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量	3. 5	338. 00 338. 00	2. 21 2. 21	4. 03		
	全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量	3. 5	338. 00 338. 00	2. 21 2. 21	4. 03		
②計画	全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者	3. 5	338. 00 338. 00 338. 00	2. 21 2. 21	4. 03		
②計画	全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者 への処理委託量 認定熱回収業者	3. 5 3. 5 3. 5 0	338. 00 338. 00 338. 00	2. 21 2. 21 2. 21	4. 03		

40.

1

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2025年6月18日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 福岡県北九州市八幡東区山王2-19-1 氏 名 株式会社奥村組 九州支店

執行役員支店長 町田 義文

電話番号

093-671-3131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	長崎県(長崎市・佐世保市を除く) 管轄内事業場
事	業場の所在地	長崎県(長崎市・佐世保市を除く) 管轄区域内
計	画 期 間	2025年4月1日~2026年3月31日
当語	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	事業の種類	06 総合工事業
	事 業 の 規 模	23,530百万円(前年度完成工事高:九州支店)
	従 業 員 数	171名
	産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
	(管理体制図)					
	別添 2 管理体制図のとおり					
産業	       	 関する事	 野項			
		【前年』	度(令和5年原	度)実績】		
		産業廃	<b>棄物の種類</b>	別紙集計表のとおり		
		排	出量	t	t	
	TENL	(これ:	までに実施し <i>†</i>	と取組)		
	現状 	(これまでに実施した取組)				
			•	尼、木くず、金属くず、汎		
			•	木くず、金属くず、ガラフ 木くず、紙くず、廃プラフ	•	
			-	トくす、私くす、焼ノファ 用(木くず、金属くず)		
				(木くず、紙くず、廃プラ	ラスチック)	
		【目標】	]			
		産業廃	<b>棄物の種類</b>			
		排	出量	t	t	
		(	実施する予定の	<b>プログロン</b>		
	計画		実施する 1/260 現状の取組で	* " *		
				で MET 47 2 0 0		
产量	 	 事項				
<del>/</del> 포=		1	している産業原	発棄物の種類及び分別に関		
		-		・ 廃プラスチック類、金属	-	
	現状			テナ等の専用保管ヤードを		
		・石綿だ	含有廃棄物は個	固別契約を行い、分別収集	集、処分を実施する。	
		(	分別する予定の	の産業廃棄物の種類及び分	う別に関する取組 )	
	   計画	•	現状の取組で			
				· · · · ·		
	i	1				

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(令和5年度	)実績】	
	現状	産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	276171	(これまでに実施した ・実施していない。	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	計画	(今後実施する予定の ・予定なし。	取組)	
自	     う行う産業廃棄物の中間	  処理に関する事項		
		【前年度(令和5年度		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した ・実施していない。	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	計画	度業廃業物の量 自6中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の ・予定なし。	取組)	,

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項		
		【前年度(令和5年度	夏) 実績】		
		産業廃棄物の種類			
	現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	
		(これまでに実施した ・実施していない。	二取組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類			
	計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	
		(今後実施する予定の ・予定なし。	)取組)		
産乳	」 業廃棄物の処理の委託に	 :関する <b>事</b> 項			
		【前年度(令和5年度	更) 実績】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり		
		全処理委託量	t	t	
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	
		再生利用業者への 処理委託量	t	t	
	現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
	<u> </u>	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
		(これまでに実施した取組) ・委託先処理業者の許可条件、処理能力、最終処分場の残存容量を確 認のうえ、委託基準に則り委託契約を行うとともに、適正に処理され			
		・がれき類、木くず、	:スト等で確認している。 石膏ボードおよび汚泥に		
		を委託している。   ・電子マニフェストダ   へ優先的に委託してに	を付を推進するため、電子 )ろ.	アマニフェスト導入業者	
			っる。 っ間処理施設および最終処	処分場の現地確認を定期	

		( // 3	* * *	
		【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	計画	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		・可能な限り優良認定	詳持するほか、下記に取り 三処理業者へ処理を委託す 「能な廃棄物は、可能な阿	<b>する</b> 。
事	務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績) 建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績) 医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程

建設工事(建築工事、土木工事及び解体工事)

汚泥: (再生利用)中間処理業者に再資源化処理を委託して、再生改良土や再生路盤材として 再資源化

廃プラスチック類:中間処理業者に委託して、固形燃料等の原材料として利用 又は、中間処理業者に委託して、破砕後、安定型最終処分場に埋立処分

紙〈ず:中間処理業者に委託して、製紙や燃料用の原材料として利用

木〈ず: (再生利用)中間処理業者に再資源化処理を委託してチップ化し、合板や燃料用の原材料、又は家畜の敷藁として再資源化 伐採材等の生木はチップ化し、製紙・合板・堆肥用として再資源化

金属〈ず:中間処理業者に委託して、電炉鋼材等の原材料として利用

ガラス〈ず、コンクリート〈ず及び陶磁器〈ず:中間処理業者に委託して、破砕後、安定型最終 処分場に埋立処分

廃石膏ボード:中間処理業者に委託して、破砕・選別処理し、路盤改良材等として再資源化 又は中間処理業者に委託して、破砕処理した後、管理型最終処分場に埋立処分 あるいは広域認定業者に委託して、石膏ボード等の原材料として再資源化

がれき類:再生利用業者に再資源化処理を委託して、再生砕石や再生路盤材として再資源化

石綿含有廃棄物:最終処分業者に委託して、安定型・管理型最終処分場に埋立処分

廃油:中間処理業者に委託して、再利用できる廃油は再生重油として再資源化 再利用できないものは焼却処分

建設混合廃棄物:中間処理業者に委託して、選別・破砕処理し、再生利用できるものは再資源化 再生利用できないものは安定型・管理型最終処分場に埋立

以上

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 25 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

## 提出者

住 所 福岡市中央区天神1-14-18 氏 名 株式会社大林組 九州支店 常務執行役員支店長 上田 哲夫 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-271-3896

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	(株)大林組九州支店 長崎市を除く長崎県内工事
事	業場の所在地	長崎市興善町2-31 長崎市を除く長崎県内工事
計	画 期 間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日
当該	亥事業場において現に行.	っている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業 総合工事業
	②事 業 の 規 模	76,236 百万円 (九州支店)
	③従 業 員 数	457 人 (九州支店)
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	施工 発生 保管 収集 運搬 中間処理 (再生・縮減) 最終処分 再生品 (有価物)

(日本工業規格 A列4番)

#### 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 環境経営統括室 環境管理責任者 建設副産物担当部署 ゼロエミッション推進担当者 環境担当者 環境推進者 工事 事務所 工事事務所長 建設副産物管理責任者 世のエミッション担当者 環境推進者 特別管理産業廃棄物 管理責任者※ 産薬廃棄物 処理責任者※ 產業廃棄物処理施設 技術管理者※ 処理会社 工事協力会社 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度( 令和6年度 ) 実績】 別紙のとおり 別紙のとおり 産業廃棄物の種類 排 量 出 t. t ① 現状 (これまでに実施した取組) ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の管理目標値設定 ・工事物件毎に計画書・実施書を作成(再資源化ルートの検討) ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減(鋼製型枠材の使用等) ・ 梱包材の削減 (メーカーへの簡易梱包依頼等) 【目標】 産業廃棄物の種類 別紙のとおり 別紙のとおり 出 t t ②計画 (今後実施する予定の取組) ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の管理目標値を設定 ・工事物件毎に計画書・実施書を作成(再資源化ルートの検討) ②産業廃棄物の削減方法を引き続き行なう ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減(鋼製型枠材の使用等) ・ 梱包材の削減 (メーカーへの簡易梱包依頼等) 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の管理目標値設定 ・工事物件毎に計画書・実施書を作成(再資源化ルートの検討) ①現状 ②分別方法 ・ 分別品目の決定 (スペースに応じて4~10品目程度) ・ 現場内に廃棄物ストックヤードを確保(コンテナ置場と回収車の停車スペース、 コンテナ毎に分別ステッカーの貼付け) (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の管理目標値設定 ・工事物件毎に計画書・実施書を作成(再資源化ルートの検討) ②計画 ②下記の分別方法を引続き行なう ・ 分別品目の決定 (スペースに応じて4~10品目程度) ・ 現場内に廃棄物ストックヤードを確保 (コンテナ置場と回収車の停車スペー ス、コンテナ毎に分別ステッカーの貼付け)

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
		【前年度 ( 令和 6 年度 ) 実績】				
	① 現状	産業廃棄物の種類 ー ー ー				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 t t				
		(これまでに実施した取組) 特になし				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類 ー ー				
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 t t				
		(今後実施する予定の取組) 特になし				
自	 ら行う産業廃棄物の中間					
		【前年度( 令和6年度 )実績】				
		産業廃棄物の種類 ー ー				
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t t				
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 t				
		(これまでに実施した取組) 特になし				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類 ー ー				
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 t t				
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 t t				
		(今後実施する予定の取組) 特になし				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
	① 現状	【前年度( 令和6年度 )実績】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t				
		(これまでに実施した取組)特になし						
	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類	_	_				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t				
		(今後実施する予定の取組) 特になし						
~ <del>**</del> >								
<b>座</b> ラ	産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
	① 現状	【前年度( 令和6年度 )実績】						
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり				
		全処理委託量	t	t				
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t				
		再生利用業者への 処理委託量	t	t				
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t				
		認定熱回収業者以外の						
		熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t				
		処理委託量 (これまでに実施した ①委託先業者の情報共 ②工事物件毎に計画書 ・管理目標値の設定 ③ゼロエミッション活	取組) 有(再資源化ルート、広 ・実施書を作成	域再生指定等)				

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり	
		全処理委託量	t	t	
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
		(今後実施する予定の取組) ①委託先業者の情報共有(再資源化ルート、広域再生指定等) ②工事物件毎に計画書・実施書を作成 ・管理目標値の設定 ③ゼロエミッション活動 ・社内情報ネットワークによる活動事例等の情報共有 ・管理目標値の設定			
<b>※</b> =	事務処理欄				

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種 に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、 自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量 と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理 委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関 する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用 委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外 の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

別紙内訳書(長崎県)

数字(t)

												数字(t)
			廃プラス チック類	木くず	がれき類	混合 (管理)						合計
廃棄物の排出	の抑制に関	する事項										
①現状(64	年度実績)	排出量	12.0	14.4	2,580.9	1.2						2,608.5
②計画(74	年度目標)	排出量	11.9	14.2	2,552.7	1.2						2,580.0
自ら行う産業房	廃棄物の再生	- 三利用に関する事項										
①現状(64	年度実績)	自ら再生利用を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
②計画(74	年度目標)	自ら再生利用を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
自ら行う産業原	廃棄物の中間	- 引処理に関する事項										
①現状(64	年度実績)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
②計画(74	年度目標)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
自ら行う産業房	廃棄物の埋立	Z 処分又は海洋投棄処分に関する事項										
①現状(64	年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
②計画(74	年度目標)	自ら埋立処分を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
産業廃棄物の	処理の委託	に関する事項										
①現状(64	年度実績)	全処理委託量	12.0	14.4	2,580.9	1.2						2,608.5
		優良認定処理業者への委託量	12.0	14.4	1,221.4	1.2						1,249.0
		再生処理業者への委託量	7.5	14.4	2,576.6	1.1						2,599.6
		認定熱回収業者への委託量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
		認定熱回収業者以外への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
②計画(74	年度目標)	全処理委託量	11.9	14.2	2,552.7	1.2						2,580.0
		優良認定処理業者への委託量	11.8	14.2	1,202.8	1.2						1,230.0
		再生処理業者への委託量	7.4	14.2	2,547.3	1.1						2,570.0
		認定熱回収業者への委託量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
		認定熱回収業者以外への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 30日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎県大村市西三城町124番地 氏 名 大村市上下水道事業管理者 原 慶一郎 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0957-53-1116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	<b> </b> 6	D	名	称	大村浄水管理センター
事	業	場	の	所	在	地	長崎県大村市松山町565-1
計		画		期		間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当計	亥事	業場	にま	361	て現	に行	っている事業に関する事項
		事	業	の	規	模	3631 下水道処理施設維持管理業
		事	業	Ø	規	模	
		従	業	É	員	数	
					物 0 D工和	<b>D</b> 一 程	別紙-3(廃棄物処理フロー)

(日本工業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
	(管理体制図)						
	別紙-4(廃棄物の処理	J紙-4(廃棄物の処理に係る管理体制)					
	<b>半肉卒物の世中の1774年</b>	即才又東西					
生列	<b>養廃棄物の排出の抑制に</b> 「						
		【前年度(令和6年度	隻)実績 <b>】</b> ┌──────				
		産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり				
		排 出 量	別紙-1 のとおり t	t			
	1日小	(これまでに実施した取組)					
	現状	汚水処理過程で発生す 化を行ってきた。	「る汚泥を濃縮、消化、肌	说水することにより減量			
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
		排出量	別紙-2 のとおり t	t			
		(今後実施する予定の	· )取組)				
	計画		「る汚泥を濃縮、消化及び	が脱水することにより更			
産業	<b>養廃棄物の分別に関する</b>	事項					
	現状	(分別している産業序 特になし	₹棄物の種類及び分別に □	<b>引する取組)</b>			
		13.25.5					
	計画		)産業廃棄物の種類及び分	分別に関する取組)			
		廃棄物保管場所を確保	Rし、分別を徹底する。				

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
		【前年度(令和6年度	夏) 実績】					
		産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり					
	現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙-1 のとおり t	t				
		(これまでに実施した	:取組)					
		処理委託業者により、 後溶融スラグ化してP	汚水汚泥をコンポストに 利用を行ってきた。	こして、廃脱硫剤を焼却				
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり					
	計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙-2 のとおりt	t				
		(今後実施する予定の	)取組)					
		処理委託業者により、 後溶融スラグ化して再	汚水汚泥をコンポストに 手利用を行う。	こして、廃脱硫剤を焼却				
自	う行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項						
		【前年度(令和6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり					
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t				
	現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙-1 のとおりt	t				
		(これまでに実施した	:取組)					
		脱水処理工程の運転管できた。	管理により、脱水汚泥の台	含水率を下げる努力をし				
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり					
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t				
	計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙-2 のとおり t	t				
		(今後実施する予定の	)取組)					
		脱水処理工程の運転管 をする。	管理により、更に脱水汚泳	尼の含水率を下げる努力				

自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
		【前年度(令和6年度	夏) 実績】				
		産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり				
	現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙-1 のとおりt	t			
		(これまでに実施した	:取組)				
		特になし					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり				
	計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙-2 のとおりt	t			
		(今後実施する予定の	)取組)				
		特になし					
産	業廃棄物の処理の委託に	関する事項					
		【前年度(令和6年度	夏) 実績】				
		産業廃棄物の種類	別紙-1のとおり				
		全処理委託量	別紙-1 のとおり t	t			
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙-1 のとおりt	t			
		再生利用業者への 処理委託量	別紙-1 のとおりt	t			
	現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t			
		(これまでに実施した	三取組)				
		特になし					
		1					

# (第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	
		全処理委託量	別紙-2 のとおり t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙-2 のとおりt	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙-2 のとおりt	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の	D取組)	
		特になし		
1	事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績) 建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績) 医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、
- 「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

# 別紙-2 (令和7年度計画書)

(t/年)

_									(t/ <del>+</del> )
		金属〈ず ガラス〈ず	蛍光灯	廃プラスチック	廃油	木〈ず	汚泥	汚泥 しさ、沈砂	廃脱硫剤
	令和6年度産業廃棄物排出量	0	2.8	0	0.5	0	77,800	126	18.5
-	産業廃棄物排出量	5.5	0.6	3.1	0.9	1.8	88,100	139	19.5
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
令和	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	83,220	0	0
7	自己中間処理量	0	0	0	0	0	88,100	0	0
年度目標	自己中間処理残さ量	0	0	0	0	0	4,880	0	0
日 標	自ら埋立処分及び海洋投入する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
-	自己直接埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
į.	自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	0	0	0	0	0	0	0	0
	直接委託及び自己処理後委託処分	5.5	0.6	3.1	0.9	1.8	4,880	139	19.5
	優良認定処理業者への処理委託量	5.5	0.6	3.1	0.9	1.8	0	0	0

## 産業廃棄物処理計画書

2025年 4 月 28 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎市竹の久保町20番9号

氏名加藤産業株式会社、

代表取締役 加藤 博文

電話番号 095-864-7321 (本社)

0957-53-9818、(県央工場)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	加藤産業株式会社 生コン事業部 県央工場、
事	業場の所在地	長崎県大村市今村町52-3、
計	画 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当調	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	窯業製品製造業
	②事業の規模	252, 716千円 (令和6年度)
	③ 従 業 員 数	14名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	生コンクリートの製造過程において発生するコンクリートがらは、自社へ運搬し処分(破砕後再生砕石)を委託している。 (フロー図) 【排出事業者】 【収集運搬】 【処分業者】 当事業所、 → 加藤産業㈱ → ㈱張本総研」

(日本産業規格 A列4番)

-7.5.02 資源循環

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

- ・産業廃棄物処分法に基づき、自社保有の産業廃棄物収集運搬車両にて確実に中間処分場へ 搬出し処分を委託する。又、営業所及び工場間で委託契約書を確実に締結する。
- ・収集運搬車輛1台に1枚、確実にマニフェストを発行し管理する。

# (管理組織図)

②計画

工場長 → 積込担当者 → 収集運搬担当者 → 処分業者担当者

英廃棄物の排出の抑制に関する事項								
	【前年度(令和6年度	【前年度(令和6年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら						
	排 出 量	1,063 t.						
<ul><li>① 現状</li></ul>	(これまでに実施した	(これまでに実施した取組)						
	使用可能なものは、こ	コンクリートブロックを集	製作する。					
	76.3							
	【目標】	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら						
	排 出 量	1,000 t						
	(今後実施する予定の	(今後実施する予定の取組)						
②計画	・戻りコンクリートコ	・戻りコンクリートブロック用型枠にて可能な限りコンクリートブロ						
		. / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	に成りコンクリートンに					
	ックを製作すること	とにより廃棄物を抑制する	Ďo,					
	ックを製作すること・生コン発注先の担当		Ďo,					
	ックを製作すること・生コン発注先の担当	とにより廃棄物を抑制する 当者と出荷量を密に打合す	Ďo,					
<b>準廃棄物の分別に</b> 関	ックを製作すること ・生コン発注先の担当 限り余りコンクリー	とにより廃棄物を抑制する 当者と出荷量を密に打合す	Ďo,					
<b>美廃棄物の分別に</b> 関	ックを製作すること ・生コン発注先の担当 限り余りコンクリー	とにより廃棄物を抑制する 当者と出荷量を密に打合せ ートの持帰りを抑制する。	か、とする事により、できる					
美廃棄物の分別に関 ①現状	ックを製作すること ・生コン発注先の担当 限り余りコンクリー 関する事項 (分別している産業例	とにより廃棄物を抑制する 当者と出荷量を密に打合せ ートの持帰りを抑制する。 窓棄物の種類及び分別に関 してコンクリートがらのみ	う。、 せする事により、できる な 関する取組)					

みは不要と考えられる。

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の種類としてコンクリートがらのみであり分別の取り組

自	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
		【前年度(令和6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類						
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t				
		(これまでに実施した取組)						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類						
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t				
	WI M	(今後実施する予定の取組)						
自	っ行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項						
		【前年度(令和6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t				
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t				
		(これまでに実施した取組)						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t				
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t				
		(今後実施する予定の取組)						

自己	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
		【前年度(令和6年度	E)実績】				
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は					
	① 現状	海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
		(これまでに実施した	-				
		使用可能なものは、= 	ュンクリートブロックを集	製作する。			
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は					
	②計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
		(今後実施する予定の	)取組)				
産業	<b>英廃棄物の処理の委託に</b>	関する事項					
		【前年度(令和6年度	E) 実績】				
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら				
		全処理委託量	1,063 t	t			
		優良認定処理業者への 処理 委託量	1,063 t	t			
		再生利用業者への 処理委託量	t	t			
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t	t			
		処理委託量   (これまでに実施した					
		・産業廃棄物処分法に	工基づき、自社保有の産業				
		て確実に中間処分場   託契約書を確実に紹	景に確実に搬出する。又、 統計る	営業所及び工場間で委			
			コンクリートブロックを	を製作する。			

# (第5面)

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	
	全処理委託量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
②計画		t	t
	ックを製作すること ・生コン発注先の担当	の取組) プロック用型枠にて可能な により廃棄物を抑制する 者者と出荷量を密に打合も - トの持帰りを抑制する。	う。 とする事により、できる
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎県松浦市志佐町白浜免字開発2091番地1 氏 名 九州電力株式会社 松浦発電所長 村上 功

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

(0956)72-1241

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	九州電力株式会社 松浦発電所
事	業場の所在地	長崎県松浦市志佐町白浜免字開発2091番地1
計	画 期 間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日(1年間)
当該	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	電気業 発電所(火力発電所)
	②事業の規模	9,308,988MWh(令和6年度実績)
	③ 従 業 員 数	8 2名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格



# (第2面) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 1 組織及び体制 (役割) 処理管理者 (所 長) : (発電所における産業廃棄物処理に関する業務を総括) 処理責任者(オペレーショングループ長) : (施設の維持管理) 技術管理者(オペレーショングループ 課長) : (産業廃棄物の総括、記録の作成、保管・管理等) オペレーションク゚ループ(日勤) : (産業廃棄物発生・処理設備の工事施工、管理、指導) メンテナンスク ループ : (産業廃棄物発生設備の運転、高効率による排出量抑制) オベレーショングループ(当直) 2 適切な管理処理方法の維持 九州電力㈱では、「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)」等に基づき、循環 型社会の形成に向け、廃棄物の適正な管理処理を行うとともに、3R(リデュース、リュ ース、リサイクル)を推進する廃棄物ゼロエミッション活動に取り組んでいます。 また、高い意識を持って法改正等の情報を収集し、「廃掃法」等に基づき制定した「廃棄 物管理基準」及び「廃棄物処理マニュアル」等の適切な改正を行い、業務へ反映していま す。 3 教育・研修 (1)産業廃棄物に関する各種講習会への参加 (3)産業廃棄物排出量の集計及び周知 (2) 最終処分場の状況把握及び周知 (4)委託契約先の処理施設の視察 4 情報公開 廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、産業廃棄物処理計画、廃棄物の発生、分別、 再生利用状況、最終処分場(B灰捨場)埋立状況について情報公開に努めています。 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和6年度)実績】 産業廃棄物の種類 別紙2のとおり ① 現状 排 Ш 量 別紙2のとおり (これまでに実施した取組) 別紙2のとおり 【目標】 別紙2のとおり 産業廃棄物の種類 ②計画 出 排 量 別紙2のとおり

# 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3のとおり

(今後実施する予定の取組)

別紙2のとおり

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項	Y. ×.	1 21							
		【前年度(令和6年月	度)実績】								
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり								
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙3のとおり								
	<b>1 5.1 1</b>	(これまでに実施した 別紙3のとおり	を取組)								
- 5		【目標】									
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり								
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙3のとおり	1)							
7 0		(今後実施する予定の 別紙3のとおり	り取組)								
自	 ら行う産業廃棄物の中間	 ]処理に関する事項	17.7	38							
		【前年度(令和6年度)実績】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	* ×							
	·	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	P. A. N. K.	a t							
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3, 446. 560 t	t							
	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	(これまでに実施した 発生する汚泥の脱水を	と取組) と確実に実施し、自社処理	里を実施。							
		. S <sub>2</sub>	2								
<		【目標】	, J								
		産業廃棄物の種類	汚泥								
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t							
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	10, 905. 600 t	t							
		(今後実施する予定の 発生する汚泥の脱水を 脱水率の管理を徹底し		売実施を図る。							

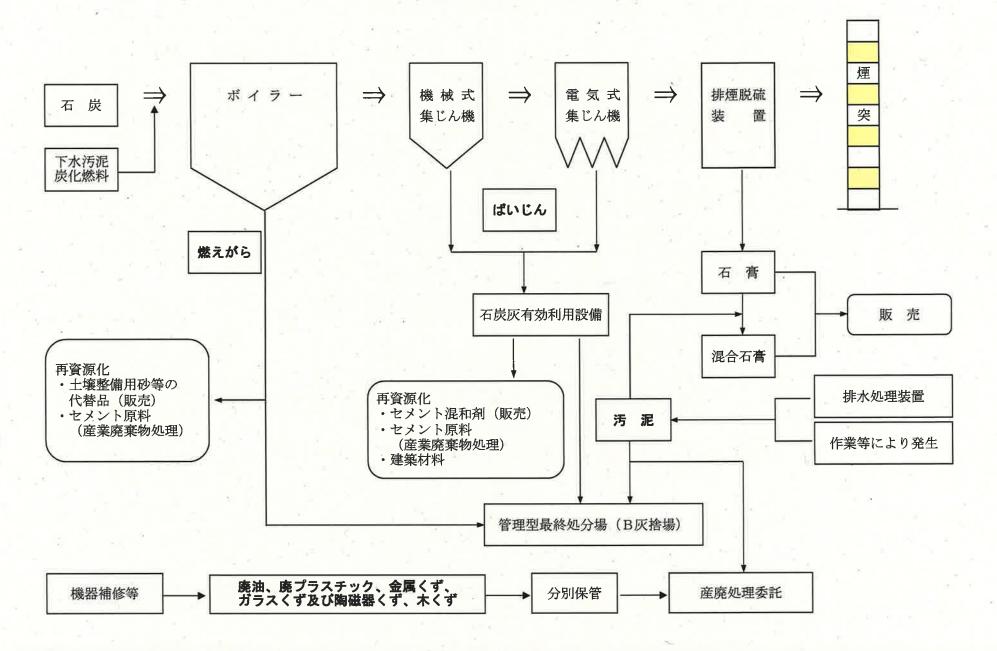
自	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項	1 c = 1
100		【前年度(令和6年度	E) 実績】	*
		産業廃棄物の種類	汚泥	
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	13, 588. 610 t	t
		(これまでに実施した 埋立等に関する法令を らびに管理徹底を実施	遵守し、埋立数量や海	洋投入処分状況の把握な
		【目標】		
	1 7 5	産業廃棄物の種類	汚泥	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	7, 270. 400 t	t
326.3	光球変数mの加田の委託)	らびに管理徹底を実施	遵守し、埋立数量や海	洋投入処分状況の把握な
<u>)</u> 	業廃棄物の処理の委託に ┌────			) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		【前年度(令和6年度	E)実績】 	h
×	1 0	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
		全処理委託量	別紙4のとおり	
K		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
w.	, , ,	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	e
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙4のとおり	a) =
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙4のとおり	5 1 1 1 1 1
		   (これまでに実施した 	取組)	
	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	別紙4のとおり		
		*. **		
	,			

# (第5面)

	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	О Щ/	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	
4.4	全処理委託量	別紙4のとおり	
9.	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙4のとおり	*
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙4のとおり	
	(今後実施する予定の	取組)	
v			
	別紙4のとおり		
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
※事務処理欄	F	14:	

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 廃棄物の処理工程



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(第2面)

### 【前年度(令和6年度)実績】

[単位: t]

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチッ ク	金属くず	ガラスくず及 び陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	合 計
排 出 量(t)	11,294.180 t	402, 614. 560 t	17,062.960 t	0.000 t	6.385 t	0.440 t	0.560 t	0.160 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	430, 979. 245 t

#### (これまで実施した取組)

1 燃えがら

罗为

•	高効率運転により排出抑制を実施。	11	
	セメント混和材及び土壌整備用砂等の代替品として再利用	(売却)	を図ることにより排出量の抑制を実施。
_			

2 ばいじん 高効率運転により排出抑制を実施。

・セメント混和材及び建築材料等として再利用 (売却) を図ることにより排出量の抑制を実施。

3 汚泥・排煙脱硫装置で生成される石膏へ混合し、排出抑制を実施。

4 工事に伴う産業廃棄物 ・排出量の抑制となるような設計・施工を実施。

#### 【令和7年度目標】

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチッ ク	金属くず	ガラスくず及 び陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	숨 計
排 出 量(t)	12,500.000 t	386, 860. 000 t	18, 215. 700 t	1. 233 t	8.014 t	3.890 t	1.365 t	0.525 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	417, 590. 727 t

#### (今後実施する予定の取組)

C INC

1		・商効半運転による排出抑制を継続して美施する。 ・セメント混和材及び土壌整備用砂等の代替品として再利用(売却)を図ることによる排出量の抑制を継続して実施する。
2	ばいじん	・高効率運転による排出抑制を継続して実施する。

・セメント混和剤及び建築材料等として再利用 (売却) を図ることによる排出量の抑制を継続して実施する。 3 汚泥 ・排煙脱硫装置で生成される石膏へ混合し、排出抑制を継続して実施する。

4 工事に伴う産業廃棄物 ・排出量の抑制となるような設計・施工を継続して実施する。

5 その他廃棄物・排出量抑制への検討等を実施する。

### 産業廃棄物の分別に関する事項(第2面)

(分別している産業廃物の種類及び分別に関する取組)

1 排出する産業廃棄物は、その種類ごとに容器を区別して保管を実施。

2 分別した産業廃棄物の保管状況を確認し、分別の徹底を実施。

(今後分別する予定の産業廃物の種類及び分別に関する取組)

1 排出する産業廃棄物は、その種類ごとに容器を区別して保管することを継続して実施する。

2 分別した産業廃棄物の保管状況を確認し、分別の徹底を継続して実施する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項(第3面)

### 【前年度(令和6年度)実績】

[単位: t]

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず及び 陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	合 計
自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	126. 900 t	120, 622. 220 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	120, 749, 120 t				

## (これまで実施した取組)

1 燃えがらは、グランド整備材や路盤改良材の有価物として利用を実施。

2 ばいじん(有価物として利用したものを除く)は、セメント会社等にてセメント原料化を実施。

┃3┃埋立等に関する法令を遵守し、埋立数量や海洋投棄処分処理状況の把握並びに管理徹底を実施。

#### 【令和7年度目標】

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず及び 陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	合 計
自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	0.000 t	20,000.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	20,000.000 t				

#### (今後実施する予定の取組)

1 燃えがら(有価物として利用したものを除く)は、再利用ができない場合等、状況を踏まえ海洋投入埋立処分を実施する。

2 ばいじん(有価物として利用したものを除く)は、再利用できない場合等、状況を踏まえ海洋投入埋立処分を実施する。

3 埋立等に関する法令を遵守し、埋立数量や海洋投棄処分処理状況の把握並びに管理徹底を継続して実施する。

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(第4面、第5面)

【前年度(令和6年度)実績】

[単位: t]

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチッ ク	金属くず	ガラスくず及 び陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	合 計
全量処理委託量	11, 167. 280 t	281, 992. 340 t	27.790 t	0.000 t	6.385 t	0.440 t	0.560 t	0.160 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	293, 194. 955 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	6.385 t	0.440 t	0.560 t	0.160 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	7.545 t
再生利用業者への 処理委託量	11, 167. 280 t	281, 992. 340 t	27.790 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	293, 187. 410 t
認定熱回収業者への 処理委託量	s t	t	t	t		t t	t	t	t	t	t	0.000 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	. t	t	t	0	t t	t	t	t	t	t	0.000 t

### (これまで実施した取組)

- 1 ばいじんは、セメント処理会社等に委託しセメントの原料として再利用を実施。
- 2 その他の廃棄物においても、リサイクル情報収集、調査、検討を踏まえ、セメント原料化や売却等により再利用を実施。
- 3 廃棄物の収集・運搬・最終処分の状況を目視による確認を行い、定期的に状況把握を実施。

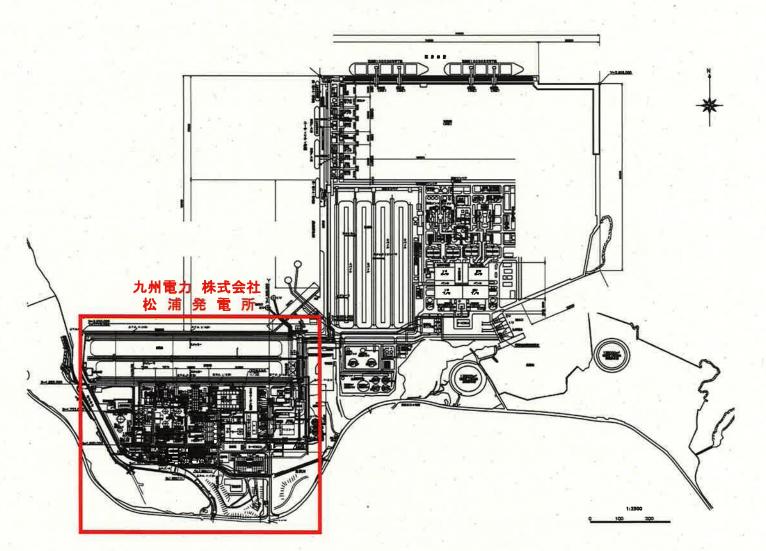
### 【令和7年度目標】

廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん	汚泥	廃油	廃プラスチッ ク	金属くず	ガラスくず及 び陶磁器くず	木くず	がれき類	廃酸	廃アルカリ	合 計
全量処理委託量	12,500.000 t	366, 860. 000 t	39.700 t	1.233 t	8. 014	t 3.890 t		0.525 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	379, 414. 727 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	16,000.000 t	0.000 t	1.233 t	8.014 t	3.890 t	1.365 t	0.525 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	16, 015. 027 t
再生利用業者への 処理委託量	12,500.000 t	350,860.000 t	39.700 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	363, 399. 700 t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t		t t	t	t	t	t	t	0.000 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	a)	t t	t	t	t	t	t	0.000 1

### (今後実施する予定の取組)

- ┃1 ┃燃え殻及びばいじんは、セメント処理会社等へ委託しセメント原料として再利用を実施する。
- | 2 | その他の廃棄物においても、リサイクル情報収集、調査、検討を踏まえ、セメント原料化や売却等により再利用を継続して実施する。
- 3 廃棄物の収集・運搬・最終処分の状況等の目視確認及び、定期的な現状把握を継続して実施する。

工場配置図



(第1面)

# 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 8 月 25 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市博多区住吉四丁目3卷2号

氏 名 九州アサノ生コンクリート工業株式会社 代表取締役社長 中 島 辰也

電話番号 092 - 474 - 9977

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	九州アサノ生コンクリート工業株式会社 時津工場				
事	業場の所在地	長崎県西彼杵郡時津町久留里郷1522番地				
計	画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日				
当語	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項				
	①事業の種類	21 窯業・土石製品製造業				
	②事業の規模	330,844千円 (令和6年度)				
	③ 従 業 員 数	19人				
		(フロー図) 【排出事業者】 【収集運搬業者】 【処分業者】 (株菱 運 → 西海砕石株) 当事業場 → (有)鳥越商店 → 西海砕石株)				

受什 - 7. 8. 27 資源循環 推進課

(日本工業規格 A列4番)

# 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

管理体制については、産業廃棄物処理法を遵守し、処理委託契約書に基づき処理業者とマニフェストを取り交わし処分を行う。

## (管理組織図)

工場所属長 → 担当者 → 処理業者

排出及び処分日は、原則一週間前までに処理業者に連絡し、スムーズに行う。

# 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度( 令和6 年度) 実績】 産業廃棄物の種類 | コンクリートがら 排 出 量 1, 072. 53 t t (これまでに実施した取組) ① 現状 使用できるものは、アンカーブロック等を作成し、産業廃棄物の減量 化に最大限努力する。 【目標】 産業廃棄物の種類 コンクリートがら 900 t t 量 排 出 (今後実施する予定の取組) ②計画 使用できるものは、アンカーブロック等を作成し、産業廃棄物の減量 化に最大限努力する。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①現状 コンクリートがらのみであり、その他の産業廃棄物は混入しない。 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 2計画 コンクリートがらのみであり、その他の産業廃棄物は混入しない。

自ら	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
		【前年度(	-年度)	実績】			
	① 現状	産業廃棄物の種類	#		=		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		- t	- t		
		(これまでに実施した	三取組)				
	② 計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	-		-		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		— t	- t		
		(今後実施する予定 <i>0</i> -	)取組)				
自己	る行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項					
	① 現状	【前年度( 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	-		=		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		- t	- t		
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		— t	- t		
		(これまでに実施した -	を取組)				
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	-		-		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		- t	- t		
	② 計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		- t	- t		
		(今後実施する予定( ー	の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	【前年度( - 年度)実績】				
	① 現状	産業廃棄物の種類		9 <del></del>	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	t	
		(これまでに実施した	上取組)		
	② 計画	【目標】-			
		産業廃棄物の種類		-	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	
		(今後実施する予定の	)取組)		
産乳	業廃棄物の処理の委託に 「	関する事項			
		【前年度( 令和6 :	年度)実績】		
	① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら		
		全処理委託量	1, 072. 53 t	t	
		優良認定処理業者への 処理委託量	1, 072. 53 t	t	
		再生利用業者への 処理 委託 量	t	t	
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
		(これまでに実施した取組)			
		産業廃棄物処理法を遵 フェストを取り交わし	皇守し、処理委託契約書ん で理する。	こ基づき処理業者とマニ	
1					

# (第5面)

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら			
	全処理委託量	900 t	t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	900 t	t		
<u> </u>	再生利用業者への 処理委託量	t	t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t		
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t		
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理法を遵守し、処理委託契約書に基づき処理業者とマニフェストを取り交わし管理する。				
※事務処理欄					

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量とついて、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。